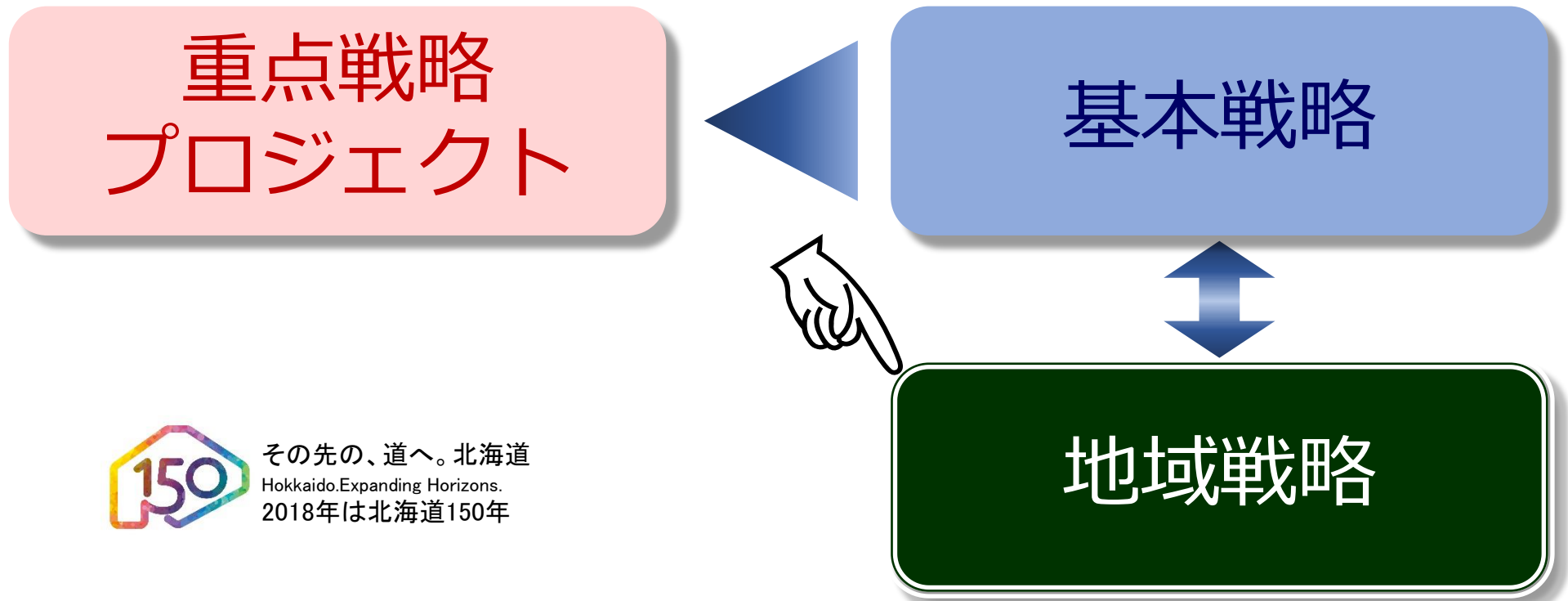


北海道創生総合戦略推進状況 (2018年11月)



その先の、道へ。北海道
Hokkaido.Expanding Horizons.
2018年は北海道150年

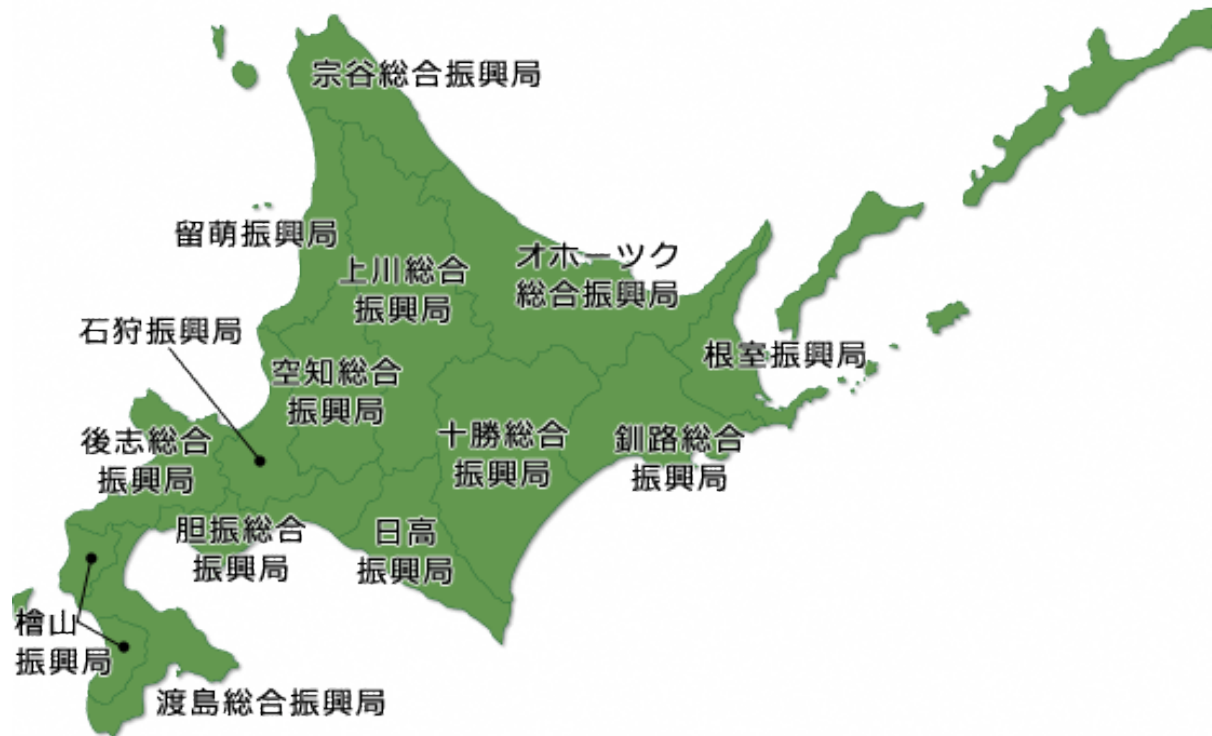
本資料における「管内の人口動態分析」「各地域の中心地の状況」「各地域の人口動態」について

- 人口推移及び自然増減については、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」の総計（日本人と外国人の合計）より作成した。
ただし、2012年3月31日の人口と2011年の自然増減については、外国人を含むデータが公表されていないため日本人のみの人口。
- 転出超過数及び人口の移動に関しては、総務省「住民基本台帳移動報告」及び、まち・ひと・しごと創生本部事務局「住民基本台帳の人口移動データに基づき、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局において作成し、地方公共団体に提供された集計表」により作成。
総計について市町村別に、転出元別の転出先のデータが公表されていないため、日本人移動者のみとした。
- 各地域の中心都市の状況については、2017年の人口移動のデータより作成。

地域戦略推進状況

[地域戦略]

振興局が中心となって進める広域的な施策の方向性を提示



【空知地域】

主な施策と取組状況

■米どころ空知の農業と関連産業の振興

○次世代の食育リーダーとなる高校生による農村滞在型農業体験を実施する食育の取組に対する支援の実施（食育実践者による講演会（2回）、農業体験（1泊2日）、高校生と小学生による農業体験学習（1泊2日））

○農家等へ「精神障がい者と農家のための農作業に関する手引き」と「管内就労支援事業所一覧」の配布をするとともに、農福連携における取組事例の調査、事例報告会の開催を検討

○海外輸出のノウハウを持つ人材の確保や海外テスト販売等により加工食品の輸出促進を図るとともに、首都圏の飲食店と連携した農産物等のPRの実施やバイヤーを招へいし商品の磨き上げを実施予定

○ワイン造りの産地基盤確立のため、研究機関や大学と連携した各種技術支援の実施

○低コスト省力化や生産性向上の確立実証、その結果の取りまとめ及び普及・促進を行う「そらち型水田農業経営確立実証事業」の実施

○首都圏等の飲食店と連携し、特産品を使用したメニューの提供とともに空知の魅力を発信する「北海道空知フェア」の開催

■地域の特性を活かした企業等の誘致とものづくり人材の確保・定着の促進

○地下の石炭層に含まれる炭層メタンガス（CBM）の資源量調査の取りまとめ及び、利活用の検討

○地元高校、地元企業、大学と連携し、学生に市内の企業をPRする冊子の配布や動画を配信するとともに、キャリアデザインを推進するワークショップなどを行う「ジョブスタート事業」の実施

■安心して住み良い暮らしのできる地域の形成促進

○コミュニティバスやデマンド交通等による交通弱者の移動手段の確保

○首都圏での移住フェアなどにおけるプロモーションの実施や、HP等を活用した「仕事」「住宅」「子育て」などの情報発信

■炭鉱（やま）の記憶やワインなどの地域資源を活用した多様なタイプの交流の促進

○首都圏・札幌圏で管内全市町村型イベントの開催及びタレントと連携したPRの実施

○薩摩と空知のつながりと炭鉄港についてのパネル展・セミナーの開催、炭鉄港PR動画の制作、炭鉄港の日本遺産登録に向けた検討取組の推進

○空知の食と観光の魅力発信及びサイクルツーリズムの推進を目的とした「そらちグルメフォンド」（H30.8.19）や「北海道スイーツライドin北&中そらち」などのイベントの開催

管内の人口動態分析

人口推移		H27	309,844人		H28	304,555人		H29	299,132人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29			
	2,693人	2,162人	2,102人		△3,213人	△3,185人	△3,372人			
転出超過の状況（振興局）		石狩管内 1,911人		上川管内 189人	オホーツク管内 31人	同（道外）		154人		

- 転出超過が続いている。特に石狩管内への転出が顕著である。（H29転出超過数2,102人のところ、石狩管内のみで転出超過1,911人）
- 年代別としては、特に20～24歳の転出、次いで15～19歳の転出が目立つ（H29転出超過2,102人のうち、20～24歳：557人、次が15～19歳：223人）。このことから、進学や新卒就職での転出が多いことが想定できる。
- 男女別では、女性の転出割合が大きい。（H29転出超過2,102人のうち、女性1,332人【63%】、男性770人【37%】）
- 留萌管内より転入超過（78人）となっている。

空知地域の中心都市の状況

	岩見沢市			滝川市			深川市		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	美瑛市 41人	札幌市 543人	関東 80人	芦別市 49人	札幌市 192人	関東 59人	留萌市 20人	札幌市 91人	四国 7人
2位	滝川市 40人	江別市 70人	中部 10人	赤平市 35人	岩見沢市 40人	東北 40人	沼田町 14人	旭川市 71人	北陸 4人
3位	夕張市 23人	上富良野町 46人	近畿 九州・沖縄 1人	千歳市 22人	旭川市 27人	近畿 25人	北竜町 11人	滝川市 13人	中部 3人
4位	旭川市 22人	千歳市 28人		室蘭市 20人	釧路市 17人	九州・沖縄 22人	妹背牛町 10人	北見市 12人	
5位	月形町他1 17人	恵庭市 26人	恵庭市 14人	小樽市 14人	中部 21人	上富良野町他1 7人	秩父別町 9人		

課題

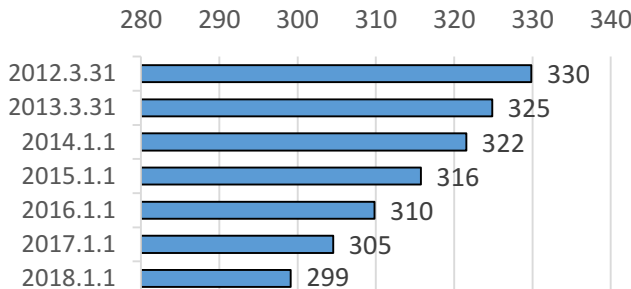
若年層を中心に、石狩管内への転出超過が継続。新規学卒者などの人材確保に向けた地元企業の合同説明会、UIJターン希望者へPRを行っているが、情報発信力の強化や企業間の情報共有を図るための仕組みづくりが必要。

空知地域の人口動態

人口推移

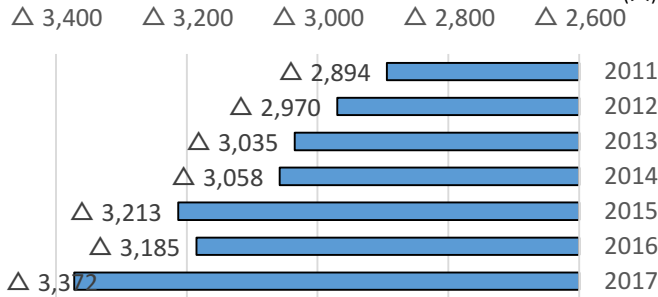
■増減率(2012→2018): △9.4%

(千人)



自然増減

(人)



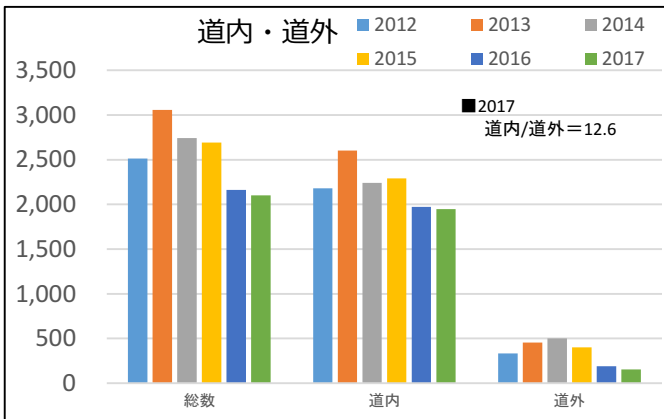
男女別転出超過数(2017年)

■関東 男/女=0.2

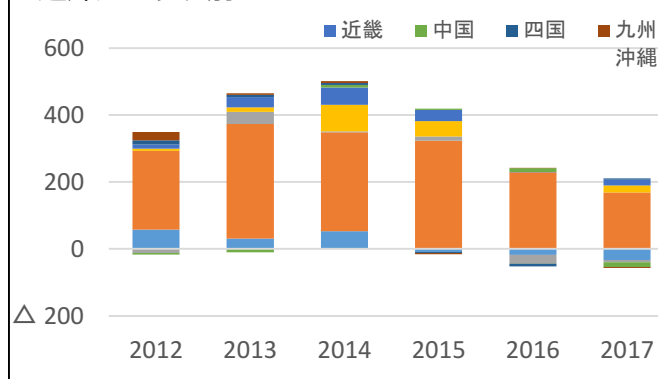
■石狩 男/女=0.6

都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局			
				総数	男	女	
東 北	△33	△25	△8	石狩	1,911	730	1,181
関 東	169	27	142	後志	19	△1	20
北 陸	△7	△3	△4	胆振	29	25	4
中 部	21	△3	24	日高	△20	△22	2
近 畿	17	12	5	渡島	△4	△1	△3
中 国	△14	△6	△8	檜 山	△21	△16	△5
四 国	4	0	4	上 川	189	99	90
九 州・沖 縄	△3	△7	4	留 萌	△78	△35	△43
合 計	154	△5	159	宗 谷	△34	△15	△19
				オホーツク	31	15	16
				十 勝	△14	7	△21
				釧 路	△12	9	△21
				根 室	△48	△20	△28
				合 計	1,948	775	1,173

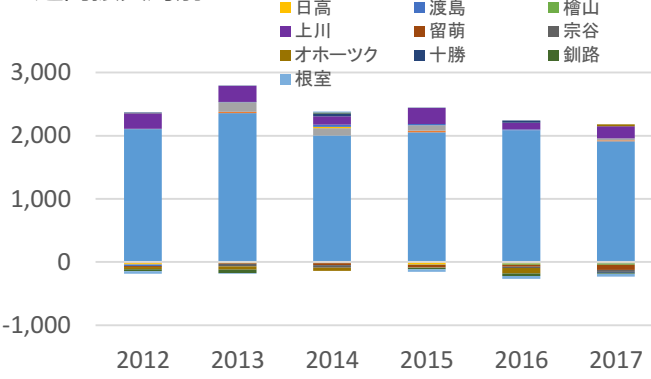
地域別転出超過の状況(年別)



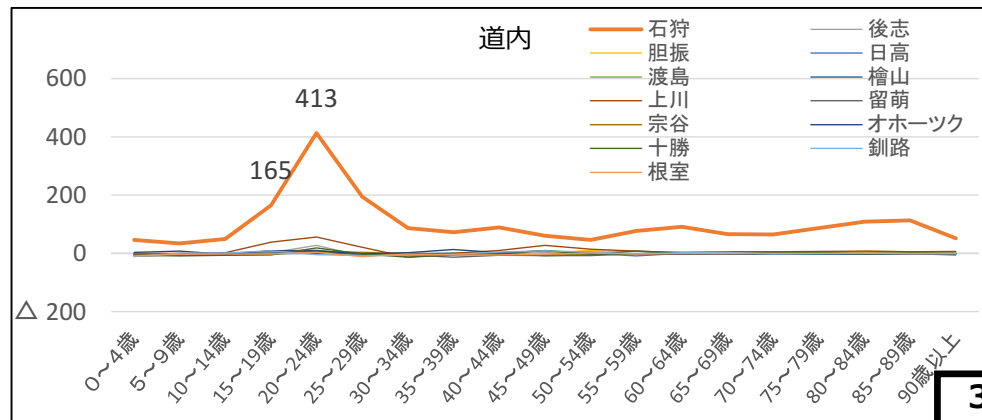
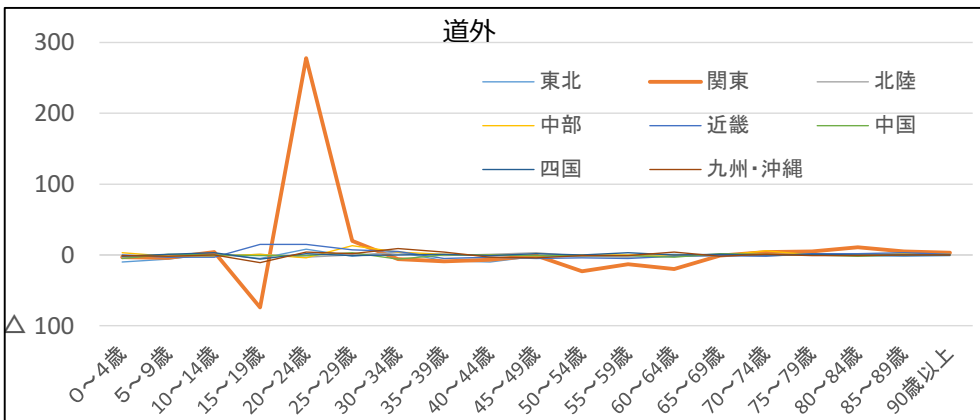
道外ブロック別



道内振興局別



年齢別人口移動の状況(2017年)



[石狩地域]

主な施策と取組状況

■若い世代の結婚・子育てに関するポジティブ・マインドの形成など少子化対策の加速

- 保育士を志す学生等を対象とした実態調査の実施
- ワーク・ライフ・バランスの実現を支援する関係機関の連携促進会議の開催、両立支援ポータルサイトの開設
- Facebookを活用した結婚や子育て、ワーク・ライフ・バランス等に関する情報発信

■若者の地元定着促進と首都圏からの新しい人の流れの創出

- 管内及び都内での「大学2年生と札幌圏企業若手社員との交流会」の開催（H30.11～予定）
- 保護者向けセミナー、首都圏大学生向け学内合同企業研究会、管内大学生向け就業力育成セミナーの開催（H30.11～12予定）
- 管内進出企業等と大学教員の交流（H30.8、12予定）、管内進出企業等と大学生の見学・交流会（H30.10）、中学生による職場体験の実施（H30.7）
- 石狩にゆかりのある絵本の読み聞かせなどを通じた石狩地域への愛着醸成
- 東京・どさんこ交流テラスにおいて管内市町村等と合同の札幌圏移住相談会を開催（H31.1予定）

■都市と自然とが共存する石狩観光スタイルのグローバルな展開

- 誘客、周遊促進に向けた食と観光の情報発信や首都圏等での観光プロモーションの実施
(H30.9：東京、H30.10：さいたま市、H30.11予定：仙台市)
- 台湾を中心とするアジア諸国に向けたSNS情報の発信や現地プロモーションの実施（H30.8：台湾）
- 海外におけるインターネット上の旅行会社（OTA）サイトを活用した来道リピーター向けの新たな体験型観光メニューの情報発信

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
子育てを応援する企業(あったかファミリー応援企業登録)数	46社 (H26)	95社 (H29)	100社 (H31)	95.0%	
管内若年(15～29歳)男性の首都圏への転出超過数(※)	1,535人 (H25)	1,377人 (H29)	850人 (H31)	61.7%	
管内への観光入込客数	2,330万人 (H26)	2,689万人 (H29)	3,100万人 (H31)	86.7%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	2,365,114人		H28	2,370,236人		H29	2,374,577人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	△8,118人	△9,723人	△9,402人		△4,220人	△5,702人	△6,327人		
転出超過の状況(振興局)	空知管内 △1,911人		上川管内 △1,694人	胆振管内 △1,596人	同(道外)		2,992人		

- 人口全体は、転入超過の伸びにより、増加傾向で推移。
・道内に対しては他振興局からの15歳～29歳の転入が多く、進学や就職等によるものと考えられる。
・道外に対しては転出超過であり、関東がその大半を占めている。関東へは幅広い年齢層(15歳～54歳)で転出超過となっているが、中でも、特に15歳～29歳が多い。しかし、超過数は4,276人(H26)から、2,992人(H29)に抑制されている。
- 自然減数が多くなる傾向にあるが、千歳市は道内で唯一の自然増を達成。

石狩地域の中心都市の状況

	札幌市			恵庭市			千歳市		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	旭川市 1,117人	沼田町 18人	関東 3,137人	千歳市 116人	札幌市 131人	関東 63人	稚内市 36人	恵庭市 116人	関東 92人
2位	小樽市 787人	鹿追町 15人	九州・沖縄 139人	旭川市 39人	滝川市 14人		岩見沢市 28人	札幌市 74人	近畿 15人
3位	函館市 708人	仁木町 14人	中部 78人	釧路市 28人	北広島市 9人		苫小牧市 26人	滝川市 22人	北陸 9人
4位	釧路市 666人	下川町 12人	近畿 64人	岩見沢市 26人	音更町 8人		新ひだか町 21人	北広島市 21人	
5位	岩見沢市 543人	東川町 8人		根室市 24人	南幌町他1 7人		江別市 20人	網走市 13人	

課題

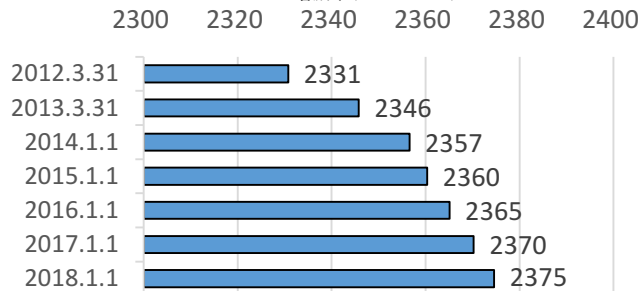
- ・道内各地域からは大幅な転入超過となっているが、道外に対しては若年層を中心に転出超過となっていることから、U I J ターンに向けた取組の推進が必要。
- ・早期離職の要因の一つであるミスマッチを防ぐため、職場定着と離職防止につながる取組が必要。

石狩地域の人口動態

人口推移

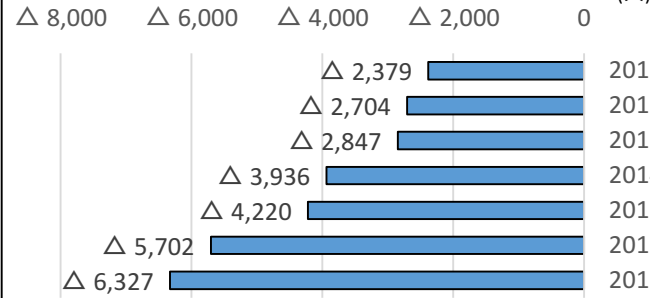
■増減率(2012→2018): 1.9%

(千人)



自然増減

(人)



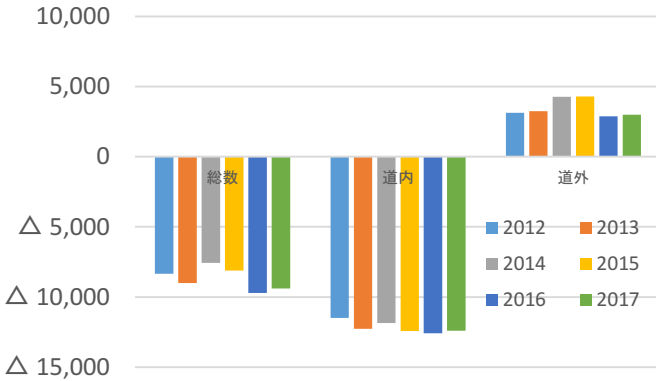
男女別転出超過数 (2017年)

■関東 男/女=0.6

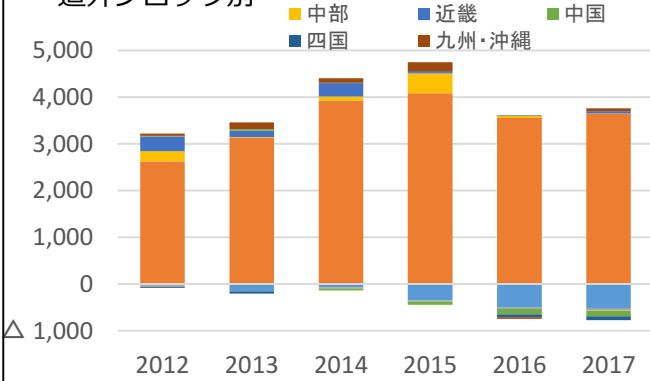
都道府県ブロック	総数	男	女	振興局	総数	男	女
東 北	△ 510	△ 277	△ 233	空 知	△ 1,911	△ 730	△ 1,181
関 東	3,653	1,344	2,309	後 志	△ 1,349	△ 546	△ 803
北 陸	△ 55	△ 43	△ 12	胆 振	△ 1,596	△ 654	△ 942
中 部	△ 10	△ 69	59	日 高	△ 429	△ 162	△ 267
近 畿	48	△ 23	71	渡 島	△ 1,167	△ 452	△ 715
中 国	△ 117	△ 63	△ 54	檜 山	△ 146	△ 55	△ 91
四 国	△ 76	△ 34	△ 42	上 川	△ 1,694	△ 635	△ 1,059
九州・沖縄	59	9	50	留 萌	△ 327	△ 117	△ 210
合 計	2,992	844	2,148	宗 谷	△ 480	△ 152	△ 328
				オホーツク	△ 1,225	△ 511	△ 714
				十 勝	△ 788	△ 264	△ 524
				釧 路	△ 923	△ 337	△ 586
				根 室	△ 359	△ 134	△ 225
				合 計	△ 12,394	△ 4,749	△ 7,645

地域別転出超過の状況 (年別)

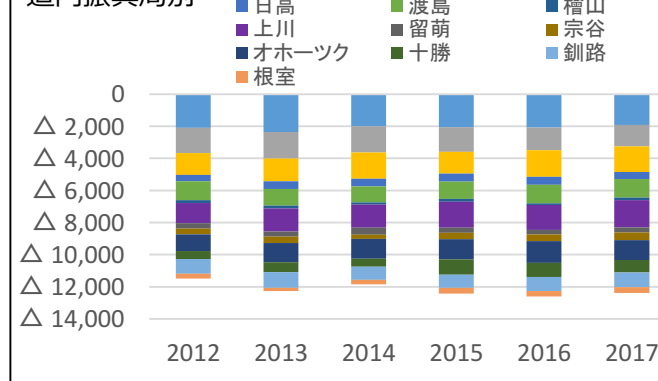
道内・道外



道外ブロック別

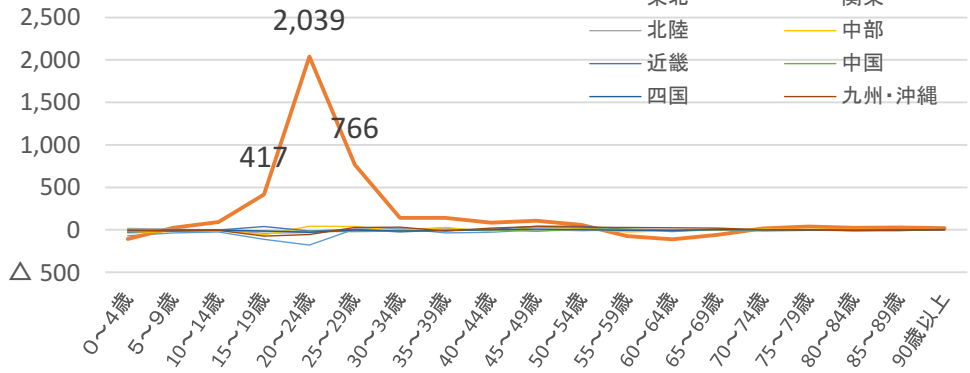


道内振興局別

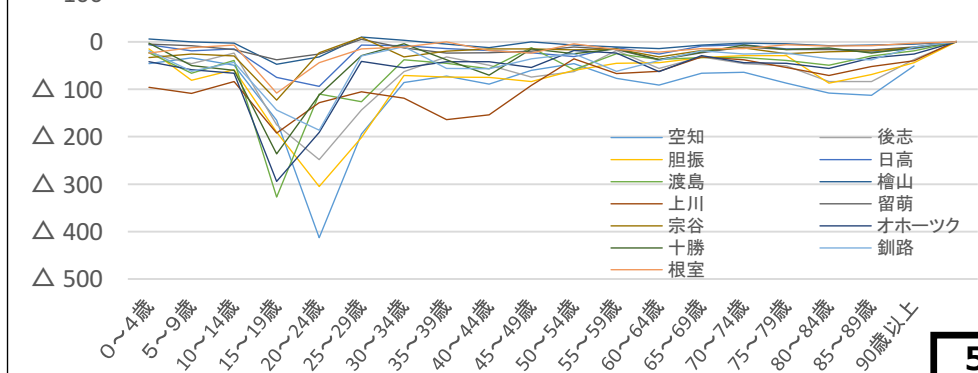


年齢別人口移動の状況 (2017年)

道外



道内



[後志地域]

主な施策と取組状況

■農林水産業の持続的発展やブランド化の推進

- 後志管内指導農業士・農業士会研修会の開催（新規就農者・研修生等交流会 1回 [H30.11.12予定]）
- 農業の収益率向上に向けたマニュアルの作成や高収益作物の栽培技術導入試験、販路拡大PRの実施
- 日本海漁業振興対策事業を活用し、新たな養殖業への取組等意欲ある地域の取組を支援
- 管内のホテル・飲食店等と管内生産者等との商談会の実施
- 地材地消の推進を目的とした、地材地消バスターや住宅見学会の開催、各種イベント会場において地域材をPR

■多彩な地域資源を活用した国際観光リゾートエリアの形成

- 「酒と肴」をテーマとした広域観光推進のためのセミナーの実施及びプロモーションの実施やサイクリングなどのスポーツツーリズムを活用した誘客促進
- 後志観光連盟や他振興局と連携したプロモーションの促進
- 北海道観光振興機構などと連携した海外旅行エージェントに対するPR（パンフレット配布）[H29：Travel Tour Expo（フィリピン）、台湾ランタンフェスティバル]

■人口減少社会に対応した活力あるまち・ひと・しごとづくりの推進

- テレビ電話を活用した、通年の就業相談を実施
- 固定資産税通知によるしりべし空き家BANKの利用促進（11町村）
- 子育て教育団体等が主催する事業に、管内の国際経験豊かな人材をグローバルサポーターとして派遣し、若者が国際的な分野で活躍しようとする機会を創出（計20人のサポーター派遣を予定）
- 平成29年度に9名（農業：7名、その他：2名）の就業に繋がったジョブフェアを再度実施予定（H31.2予定）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
特産農産物(塩トマトなど)生産農家戸数	8戸 (H26)	13戸 (H29)	30戸 (H31)	43.3%	
管内への観光入込客数	2,100万人 (H26)	2,300万人 (H29)	2,593万人 (H31)	88.7%	
空き家BANK成約件数	41件 (H26)	77件 (H29)	90件 (H31)	85.6%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	218,687人	H28	215,948人	H29	213,005人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29
	1,684人	1,401人	1,152人		△2,108人	△2,144人	△2,167人
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 1,349人		日高管内 24人	胆振管内 12人	同 (道外)		26人

- 転出超過数は減少傾向であるが、転出超過は続いている。関東への転出超過は4年連続で減少しており、道内他振興局への転出超過は、石狩管内が大半を占めている。
- 石狩へは全年齢階級で、関東へは主に15～24歳で転出超過となっている。特に、石狩に対する女性の転出超過数が多い。
- 上記転出超過は、子どもの進学や就職が転機となっていることが推測される。

後志地域の中心都市の状況

	小樽市			倶知安町			余市町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	余市町 45人	札幌市 787人	関東 37人	函館市 20人	札幌市 85人	四国 2人	積丹町 15人	札幌市 121人	関東 10人
2位	岩内町 28人	帯広市 13人	九州・沖縄 21人	岩内町 余市町 10人	苫小牧市 23人	中部 1人	共和町 8人	小樽市 45人	北陸 中部 3人
3位	旭川市 23人	浦河町 10人	北陸 20人				網走市 6人	仁木町 12人	
4位	北見市 20人	石狩市 千歳市 8人	中部 9人	北広島市 7人	岩見沢市 稚内市 二セコ町 10人		旭川市 5人	倶知安町 10人	東北 2人
5位	根室市 15人		近畿他 3人	留寿都村他 5人			新十津川町他 4人	岩内町他 8人	

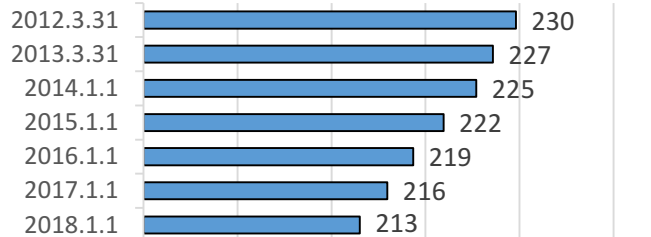
課題

転出超過は減少傾向にあるものの、依然として転出超過の状況にあり、「しごと」と「すまい」のマッチングなど雇用対策、特産物の生産等産業振興の更なる取組が必要。

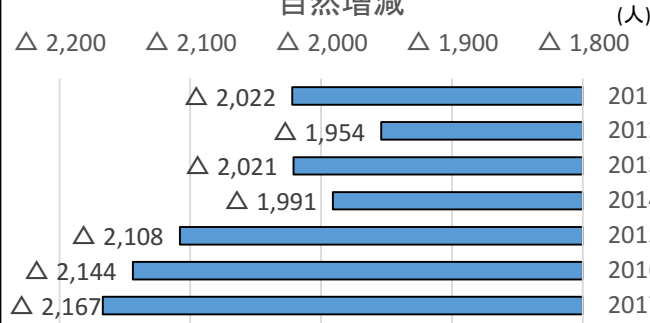
後志地域の人口動態

人口推移

■増減率(2012→2018): △7.4% (千人)



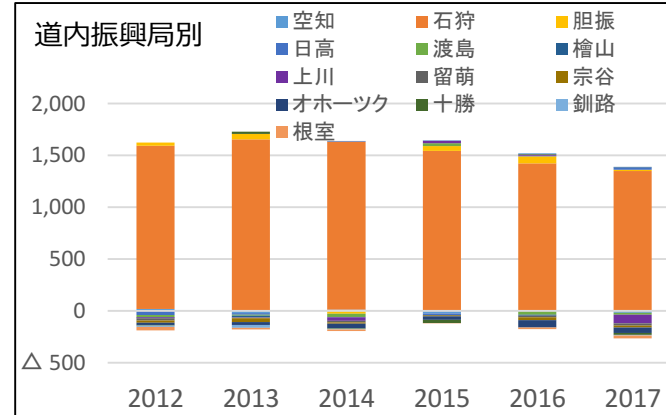
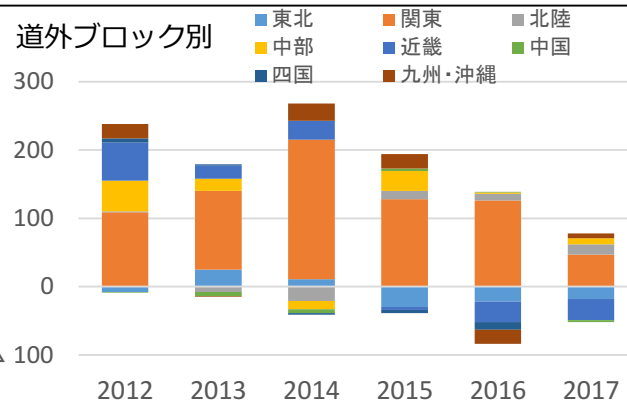
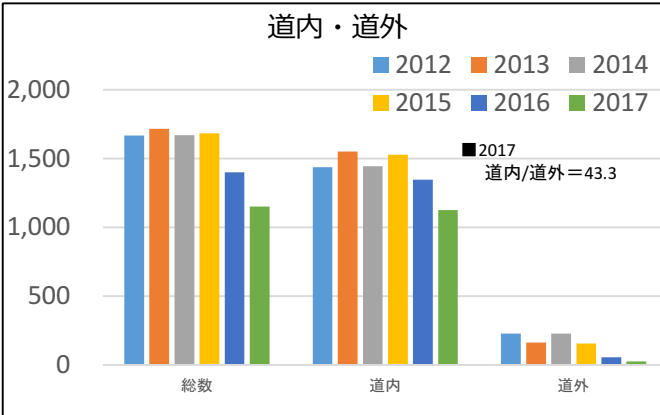
自然増減



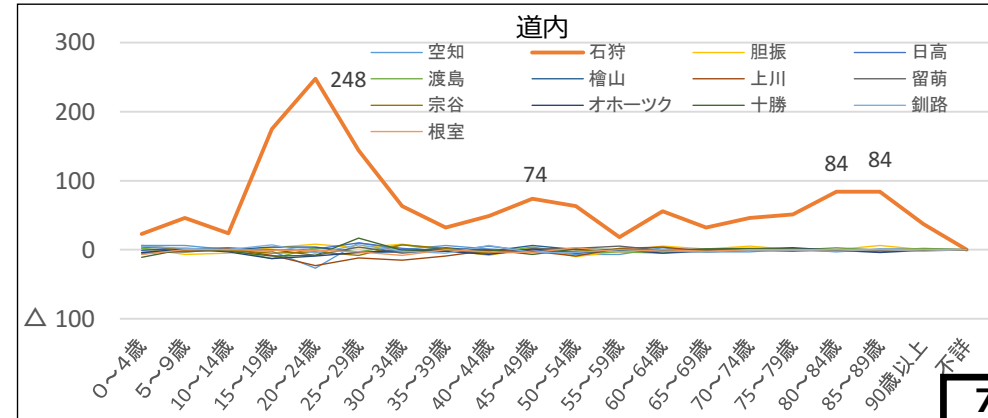
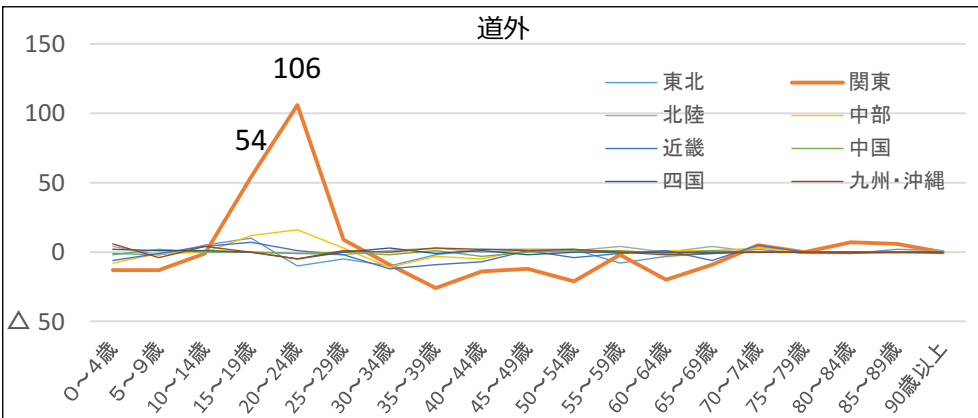
男女別転出超過数(2017年)

都道府県ブロック	総数	関東 男/女=1.5		石狩 男/女=0.7			
		男	女	振興局	総数	男	女
空知	△ 19	1	△ 20	知	△ 19	1	△ 20
石狩	1,349	546	803	石狩	1,349	546	803
胆振	12	25	△ 13	胆振	12	25	△ 13
日高	24	15	9	日高	24	15	9
渡島	△ 17	△ 24	7	渡島	△ 17	△ 24	7
檜山	6	5	1	檜山	6	5	1
上川	△ 84	△ 31	△ 53	上川	△ 84	△ 31	△ 53
留萌	△ 21	△ 14	△ 7	留萌	△ 21	△ 14	△ 7
宗谷	△ 18	△ 19	1	宗谷	△ 18	△ 19	1
オホーツク	△ 55	△ 35	△ 20	オホーツク	△ 55	△ 35	△ 20
十勝	△ 18	0	△ 18	十勝	△ 18	0	△ 18
釧路	△ 4	7	△ 11	釧路	△ 4	7	△ 11
根室	△ 29	△ 14	△ 15	根室	△ 29	△ 14	△ 15
合計	26	11	15	合計	1,126	462	664

地域別転出超過の状況(年別)



年齢別人口移動の状況(2017年)



【胆振地域】

主な施策と取組状況

■地球誕生と文化の変遷を体感できる地域資源の磨き上げ・発信

- PRイベントなどによる胆振四大遺産（ジオパーク、アイヌ文化、縄文遺跡群、むかわ竜）の魅力発信を実施するほか、道内・道外プロモーションを実施
- NEXTCO東日本との連携による「北海道命名150年記念!!北海道スマホスタンプラリー」において「北海道ジオパーク賞」の実施継続（H30.4～11）
- 民族共生象徴空間の開設を控え、気運の醸成に資するアイヌ文化の情報発信を管内・管外に向けて実施
- 宮蘭フェリー就航につき利用促進及び交流人口の拡大に向けたPRの実施

■新鮮・多品種な食材の共演による「胆振フルコース」の展開

- 胆振産食材の利活用促進及び食のPR・強化のため、胆振産食材を使ったメニューを提供する「いぶり食のフルコース」を札幌市で、「北海道いぶりフェア」を首都圏で開催（H30.9.1～30札幌市、H30.11.1～東京都）、
- その他、外国人旅行者向けに「いぶり食・観光ウィンターイベントinニセコ」を開催

■世界の課題に応える産業拠点の形成促進と雇用の創出

- 道内外の中小企業、大学、産業支援機関等が一堂に会する、ものづくり分野の展示会「北洋銀行ものづくりテクノフェア2018」（H30.7.26札幌市）に出展
- 管内高校・大学の進路指導教員を対象に、企業工場見学と企業採用担当者との意見交換会（進路指導教員向けバスツアー）を実施（H30.10.4室蘭市）
- 管内の見学・視察可能な産業施設を集約、掲載したHP（いぶりの産業観光マップ）等による情報発信を通じ、人材確保の取組を促進

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
管内への観光入込客数	1,500万人 (H25)	1,698万人 (H29)	1,983万人 (H32)	85.6%	
宿泊延べ客数(外国人)	61万人 (H25)	108万人 (H29)	232万人 (H32)	46.6%	
食品工業の付加価値額	184億円 (H24)	251億円 (H28)	190億円 (H31)	132.1%	
製造業の付加価値生産性	1,332万円 (H25)	1,254万円 (H28)	1,850万円 (H30)	67.8%	
従業員数4～29人の事業所における常用雇用者数	4,900人 (H25)	4,441人 (H28)	5,500人 (H31)	80.7%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	404,206人		H28	400,072人		H29	396,043人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	1,184人	1,890人	1,612人		△2,166人	△2,281人	△2,569人		
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 1,596人		日高管内 △222人		渡島管内 △94人		同 (道外)		624人

- H29はH28に比べて転出超過が減少しているが、女性の転出超過は、H27を除き増加の傾向が見られる。
- 道外への転出超過数は、15～34歳で多く、特に、15～24歳の、関東への転出超過が多くなっており、進学や就職によるものと考えられる。
- 振興局別道内への転出超過の状況については、石狩管内への転出超過の影響が大きく、明確な抑制の傾向は見られないが、石狩、空知及び檜山を除く、全ての管内からは3年連続で転出超過となっており、特に、日高や渡島など隣接する振興局からのH29の転入超過はH28と比べ増加している。

胆振地域の中心都市の状況

	室蘭市			苫小牧市			登別市		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	伊達市 35人	札幌市 416人	関東 151人	白老町 104人	札幌市 505人	関東 233人	室蘭市 66人	札幌市 265人	東北 36人
2位	洞爺湖町 18人	登別市 66人	近畿 22人	函館市 68人	千歳市 26人	中部 90人	岩見沢市 18人	苫小牧市 57人	関東 4人
3位	八雲町 14人	苫小牧市 32人	中国 11人	新ひだか町 67人	恵庭市 23人	九州・沖縄 15人	稚内市 13人	上富良野町 33人	北陸 2人
4位	稚内市 13人	北見市 滝川市 20人	東北 10人	むかわ町 62人	岩見沢市 11人	北陸 12人	釧路市 富良野市 8人	江別市 千歳市 12人	
5位	浦河町 12人		中部 1人	登別市 57人	赤平市他3 6人	中国 3人			

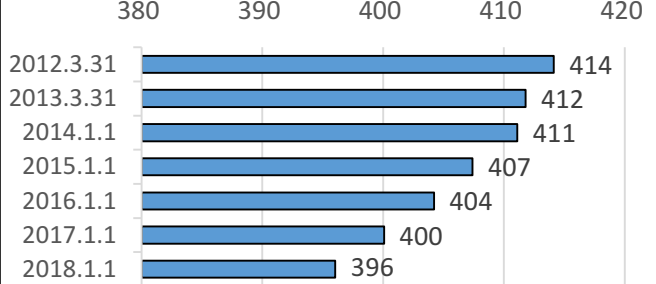
課題

石狩、空知及び檜山を除く振興局から転入超過の傾向がある一方で、関東や石狩管内へ転出超過が続いている。地域を支える産業等の担い手育成や関係人口の呼び込み等の課題に加え、今回の胆振東部地震により、産業基盤・生活基盤への被害や、観光への甚大な影響があったことから、迅速な復旧・復興とともに地域の強みや潜在力を最大限に活かし、力強く元気な胆振を創生することが必要。

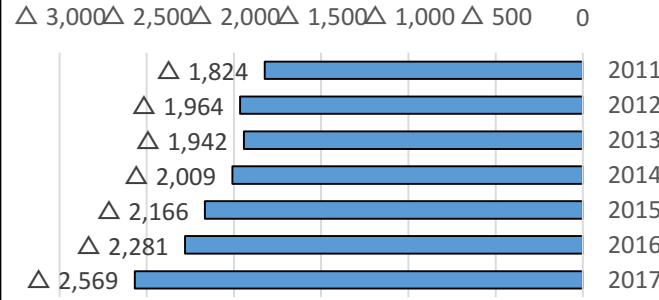
胆振地域の人口動態

人口推移

■増減率(2012→2018): △4.3%



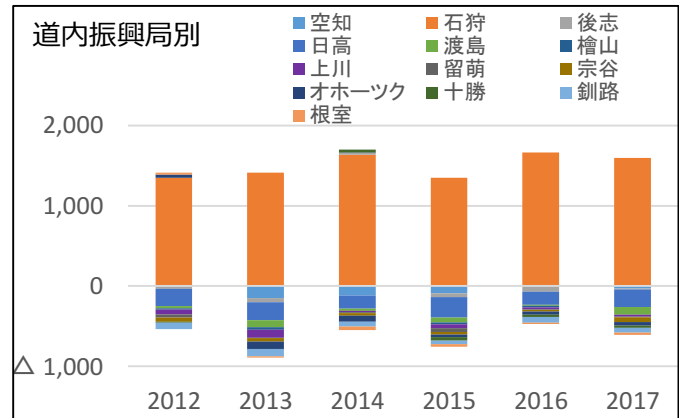
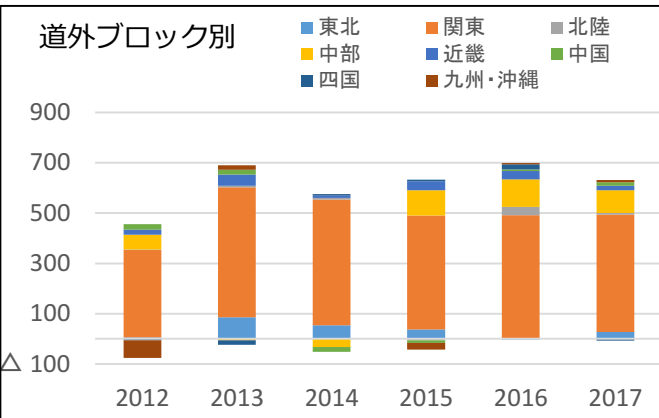
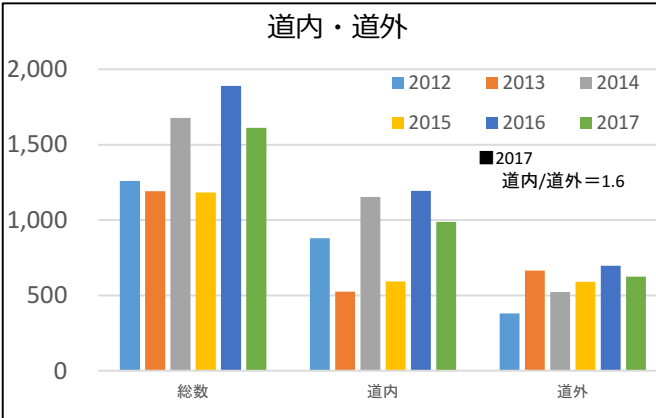
自然増減



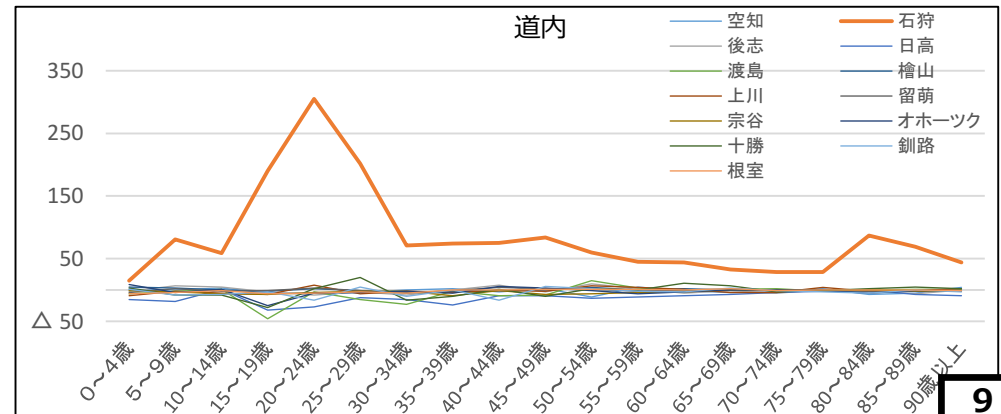
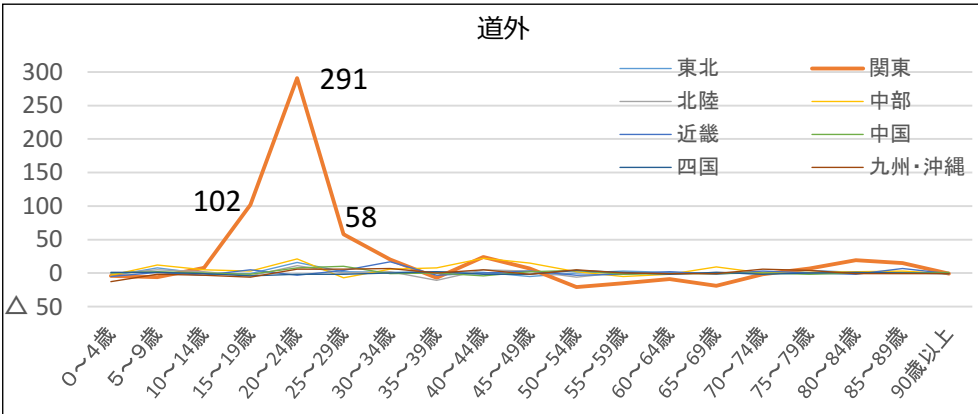
男女別転出超過数(2017年)

都道府県ブロック	関東 男/女=0.7			石狩 男/女=0.7			
	総数	男	女	振興局	総数	男	女
東北	27	29	△ 2	空知	△ 29	△ 25	△ 4
関東	467	198	269	石狩	1,596	654	942
北陸	6	3	3	後志	△ 12	△ 25	13
中部	91	72	19	日高	△ 222	△ 106	△ 116
近畿	18	8	10	渡島	△ 94	△ 69	△ 25
中国	14	15	△ 1	檜山	0	8	△ 8
四国	△ 7	△ 8	1	上川	△ 23	△ 12	△ 11
九州・沖縄	8	16	△ 8	留萌	△ 8	△ 1	△ 7
合計	624	333	291	宗谷	△ 60	△ 33	△ 27
				オホーツク	△ 44	△ 35	△ 9
				十勝	△ 29	△ 27	△ 2
				釧路	△ 60	△ 35	△ 25
				根室	△ 27	△ 13	△ 14
				合計	988	281	707

地域別転出超過の状況(年別)



年齢別人口移動の状況(2017年)



[日高地域]

主な施策と取組状況

■「ひだか」地域を支える農林水産業の振興

- 新規就農者説明会等への支援、インターンシップ受入及び職業人への支援
- くくりわななどエゾシカ等鳥獣被害対策の推進や鳥獣被害防止対策に係る資料を活用した啓発活動の実施
- 日高管内コンブ生産安定対策会議の開催、漁業就業暮らし体験モデル事業の実施
- 「日高地域食クラスター・6次産業化推進検討会」の開催及び日高厚賀IC開通PRの実施
- 軽種馬生産振興に向けた「軽種馬生産構造改革推進会議」の開催

■地域特性を活かした「ひだか」観光の展開

- 都市圏や競馬場等において観光PRや日高特産品の販路拡大に向けた取組
- 環境省が調査を開始した日高山脈襟裳固定公園の国立公園化に向けた取組への協力及び関係市町村へ情報の提供
- 振興局の観光HPを、観光資源を効果的に活用した画像・動画を用いて閲覧者の視覚に訴える内容にリニューアルし、情報発信を強化
- 「第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳（北海道様似町）大会」の企画・運営等の協力及び道内ジオパークの魅力を紹介するパネル展の実施

■誰もが住み続けたいと思える「ひだか」地域づくり

- 障がいのある方の暮らしやすさを推進するため、「日高圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会」を3回開催
- 「日高管内空き屋対策等連絡調整会議」の開催、空き家等対策の推進に関する特措法に伴う技術的支援
- 日高町村会と連携し、東京23区（文京区）の大学へのPR活動を実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
新規就農者数	15人 (H25)	31人 (H28)	20人 (H31)	155.0%	
モデル地区における新たな生産体制によるコンブ漁獲量	—	7.9トン (H27～29累計)	年間当たり5トンの増加	31.6% (※1)	
管内への観光入込客数	160万人 (H26)	169万人 (H29)	210万人 (H31)	80.5%	

(※1)目標値(b)は5トン×5ヵ年(H27～H31)=25トンとして計算

管内の人口動態分析

人口推移	H27	70,227人		H28	69,194人		H29	67,971人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	907人	702人	798人		△436人	△467人	△487人		
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 429人		胆振管内 222人		上川管内 38人		同 (道外)		81人

- 転出超過の状況に明確な傾向は見られないが、転出先としては、石狩管内と胆振管内が全体の約8割を締めており、特に、石狩管内は15～24歳、胆振管内は15～39歳で転出超過が多く、進学や就職によるものと考えられる。
- 転出超過の男女別の状況については、極端な差は見られないものの、女性の割合が高い傾向があり、結婚等の事情によるものと推測される。

日高地域の中心都市の状況

	日高町			浦河町			新ひだか町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	新冠町 14人	苫小牧市 43人	中部 6人	様似町 16人	札幌市 89人	関東 40人	様似町 12人	札幌市 131人	関東 14人
2位	旭川市 5人	札幌市 20人	関東 5人	えりも町 13人	苫小牧市 15人	四国 3人	八雲町 10人	苫小牧市 67人	九州・沖縄 12人
3位	江別市 江差町 4人	岩見沢市 8人	東北 近畿 中国 3人	函館市 小樽市 10人	室蘭市 12人	中部 2人	留萌市 平取町 浦河町 8人	旭川市 25人	近畿 9人
4位		帯広市 恵庭市 6人			恵庭市 11人	東北 1人		新冠町 23人	北陸 4人
5位	深川市 3人			釧路市 8人	千歳市 9人		千歳市 21人	四国 1人	

課題

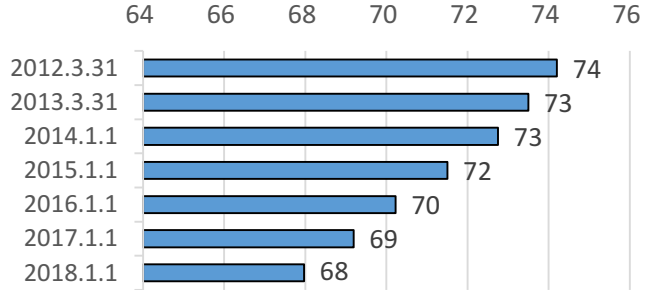
- ・若年層を中心に転出超過が続いており、地域産業の振興による雇用の創出が必要。
- ・交流人口の増加を図るため、日高地域の魅力をより効果的に発信していくことが必要。

日高地域の人口動態

人口推移

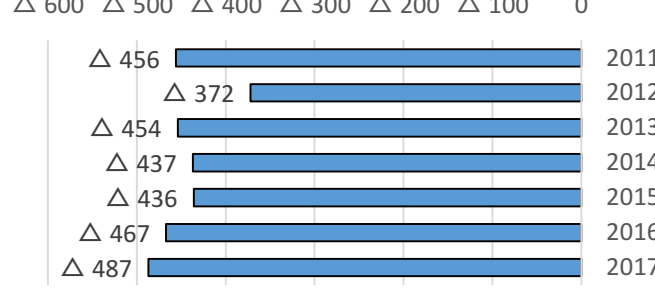
■増減率(2012→2018): △8.1%

(千人)



自然増減

(人)



男女別転出超過数(2017年)

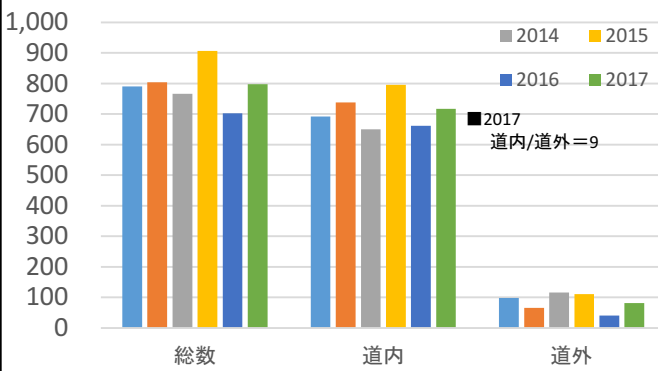
■関東 男/女=0.6

■石狩 男/女=0.6

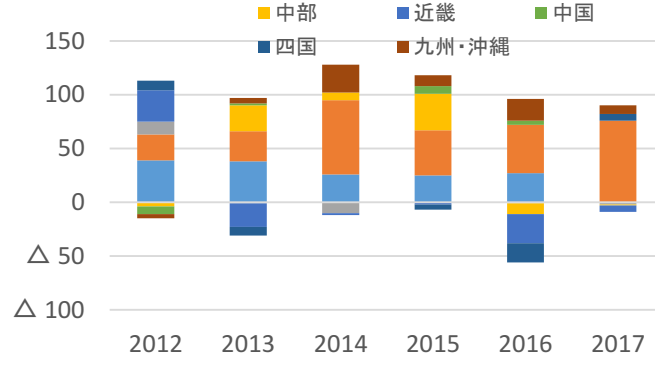
都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局			
				振興局	総数	男	女
関東	76	28	48	空知	20	22	△2
北陸	△2	0	△2	石狩	429	162	△267
中部	△1	△4	3	後志	△24	△15	△9
近畿	△6	△7	1	胆振	222	106	116
中国	0	5	△5	渡島	1	△1	2
四国	6	4	2	檜山	△3	△4	1
九州・沖縄	8	△1	9	上川	38	23	15
合計	81	26	55	留萌	△19	△9	△10
				宗谷	△6	△6	0
				オホーツク	26	16	10
				十勝	28	9	19
				釧路	3	△1	4
				根室	2	△3	5
				合計	717	299	418

地域別転出超過の状況(年別)

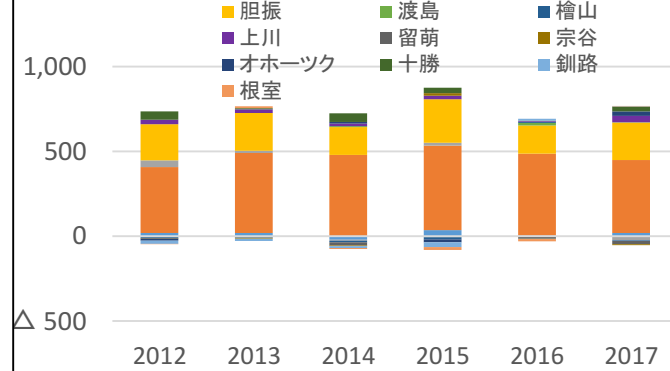
道内・道外



道外ブロック別

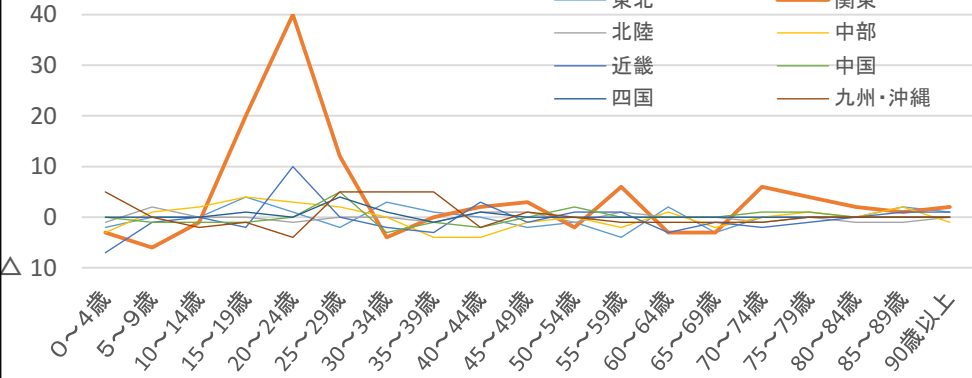


道内振興局別

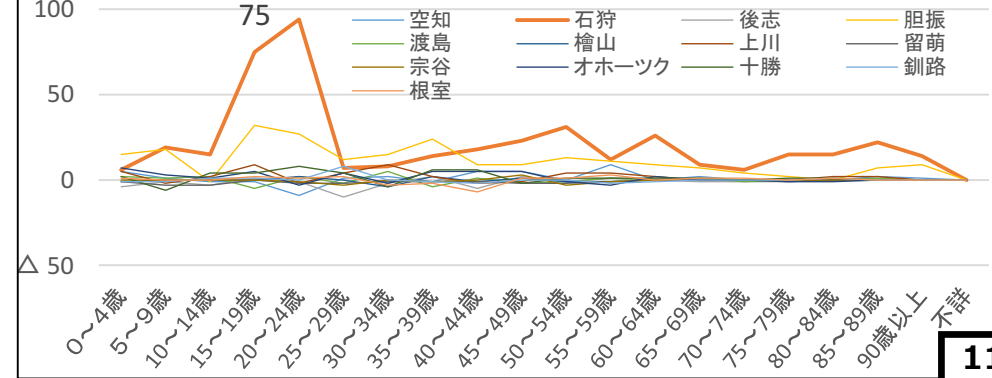


年齢別人口移動の状況(2017年)

道外



道内



【渡島地域】

主な施策と取組状況

■北海道新幹線開業効果を最大限に発揮した交流人口の拡大

- 教育旅行誘致に向けてJR北海道等と連携し、商談会の参加、学校関係者や旅行会社関係者へPRの実施
- 首都圏開催の観光商談会に青森県と共同で参加し、冬の観光資源を中心とした青函周遊ルートなどを旅行会社へ提案。また、青函共同で観光PRを実施し青函広域観光エリアの情報発信
- 中小企業総合支援センターや本庁経済部食関連産業室事業の支援制度の活用及び「ブランドフェア商談・相談会」において、民間企業のバイヤーによる商品開発・磨き上げ・販路開拓の支援を実施
- 世界遺産登録を見据えた縄文遺跡群の認知度向上・機運醸成（パネル展、道外PRなど）、関係者の情報共有（メールマガジンなど）、観光資源としての活用（講演会2回、管内遺跡見学会など）を展開
- インバウンド集客の気運醸成・受入環境整備等としてインバウンド集客セミナーの開催、宿泊施設等へのコンサルタント派遣実施
- 西部4町の「スポーツ合宿の里」としての連携強化、施設や寄宿情報の共有・ワンストップで予約可能な受入体制整備を推進

■渡島の魅力を活かした生活・定住環境づくりの推進

- 医療介護福祉分野の就業体験モニターの実施（H29.10、H30.9）
- 渡島管内地域創生担当者会議を開催し、移住・定住をテーマに意見交換を実施

■渡島を支える農林水産業の振興と6次産業化への取組強化

- 地域の独自性・優位性を有する一次産品・加工品の磨き上げを行い、付加価値向上と販路拡大を進めるとともに、道南のブランドの確立に向けた取組を推進（物産フェア（H29.7、10、H30.7）、道南食と観光ブランドフェア（H29.11、H30.11）の開催）、また、高級スーパー等のバイヤーや飲食店を招へいし、更なる商品の磨き上げ、販路開拓を促進
- 道南スギを利用した家具ブランドの創出を目的として、箱館洋家具の歴史と地域材をテーマとしたデザインコンペの開催（H29.8、9、H30.7）
- スマート農業セミナーの開催、新たな課題に対応した実証試験の取りまとめ

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
管内への観光入込客数	1,062万人 (H26)	1,171万人 (H29)	1,320万人 (H31)	88.7%	
管内におけるスポーツ合宿実施件数	265件 (H26)	257件 (H27)	290件 (H31)	88.6%	
管内のちょっと暮らしの利用者数	61人 (H26)	112人 (H29)	110人 (H31)	101.8%	
管内の農林水産業新規就業者数	96人 (H26)	62人 (H29)	110人 (H31)	56.4%	

管内の人口動態分析

人口推移		H27	410,741人		H28	405,651人		H29	400,823人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29			
	1,959人	1,973人	1,593人		△3,186人	△3,362人	△3,462人			
転出超過の状況 (振興局)		石狩管内 1,167人		胆振管内 94人	後志管内 17人	同 (道外)		715人		

- 転出超過はH25をピークに減少。道外への転出は減少傾向だが、道内での転出が増加している。
- 地域別で、転出超過が1番多いのは石狩(1,167人)、2番目は関東(792人)。転入超過が1番多いのは檜山(250人)、2番目は東北(174人)。
- 15～19歳の転出超過が1番多いのが石狩(327人)、20～24歳の転出超過が1番多いのは関東(497人)。
- 東北からは、H28以降転入が増加し、H29には男女とも転入超過。東北から近く、新幹線開業効果もあるとみられる。
- 45～69歳は転入超過(156人)。うち、1番多いのは関東(121人)。

渡島地域の中心都市の状況

	函館市			北斗市			七飯町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	森町 93人	札幌市 708人	関東 611人	知内町 27人	札幌市 122人	関東 84人	函館市 89人	札幌市 40人	関東 36人
2位	松前町 73人	七飯町 89人	中部 39人	旭川市 16人	苫小牧市 11人	中部 17人	森町 41人	千歳市 13人	中部 6人
3位	八雲町 62人	苫小牧市 68人	北陸 24人	森町 15人	恵庭市 8人	九州・沖縄 9人	八雲町 19人	江別市 6人	中国 3人
4位	釧路市 54人	旭川市 49人	近畿 11人	木古内町 9人	小樽市 7人	東北 6人	今金町 10人	恵庭市 5人	
5位	福島町 45人	倶知安町他1 20人	四国 4人	厚沢部町 8人	北広島市 6人	中国 2人	鹿部町他1 8人	登別市他1 4人	

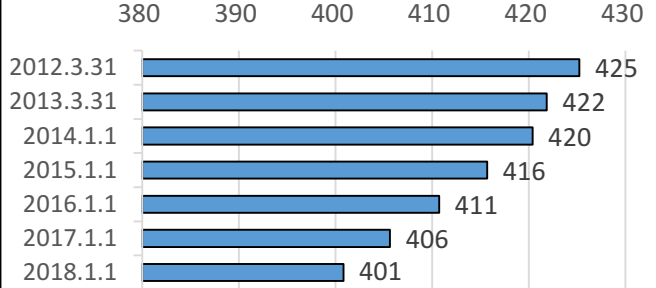
課題

- ・高校卒業後に石狩、大学卒業後に関東への転出が多く、学校卒業後の地域産業への就職に向けた支援が必要。
- ・農林水産業の新規就業者数は増加しておらず、引き続き第一次産業における人材の確保の取組が必要。

渡島地域の人口動態

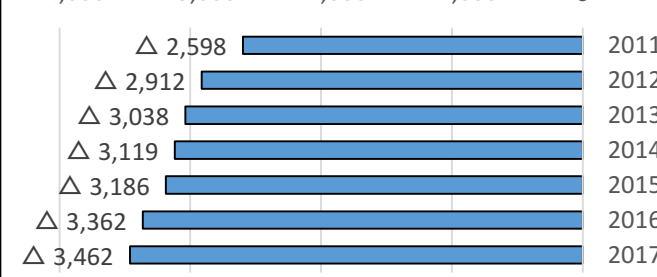
人口推移

■増減率(2012→2018): △5.6% (千人)



自然増減

(人)



男女別転出超過数(2017年)

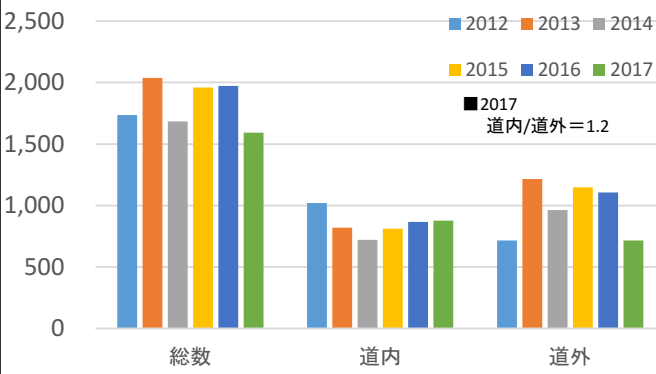
■関東 男/女=1:1

■石狩 男/女=0.6

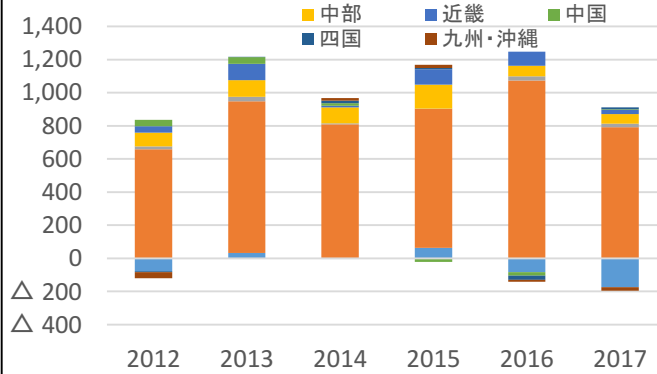
都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局		
				総数	男	女
東 北	空知	△ 4	1	3		
	石狩	1,167	452	715		
	後志	17	24	△ 7		
関 東	胆振	94	69	25		
	日高	△ 1	1	△ 2		
北 陸	檜山	△ 250	△ 117	△ 133		
	上川	25	5	20		
中 部	留萌	△ 12	2	△ 14		
	宗谷	△ 24	△ 15	△ 9		
近 畿	オホーツク	△ 15	△ 5	△ 10		
	十勝	△ 52	△ 32	△ 20		
中 国	釧路	△ 64	△ 48	△ 16		
	根室	△ 11	△ 6	△ 5		
四 国	根室	△ 11	△ 6	△ 5		
	合計	715	326	389		

地域別転出超過の状況(年別)

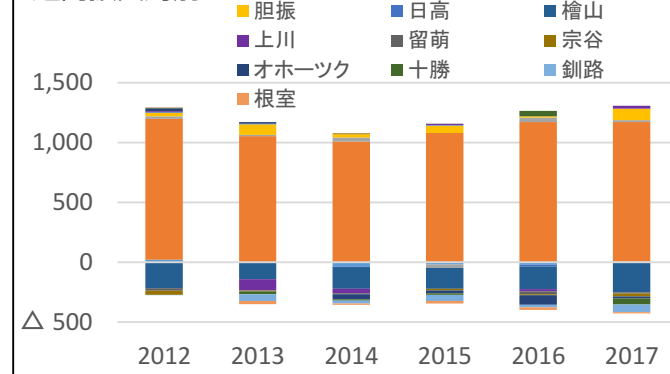
道内・道外



道外ブロック別

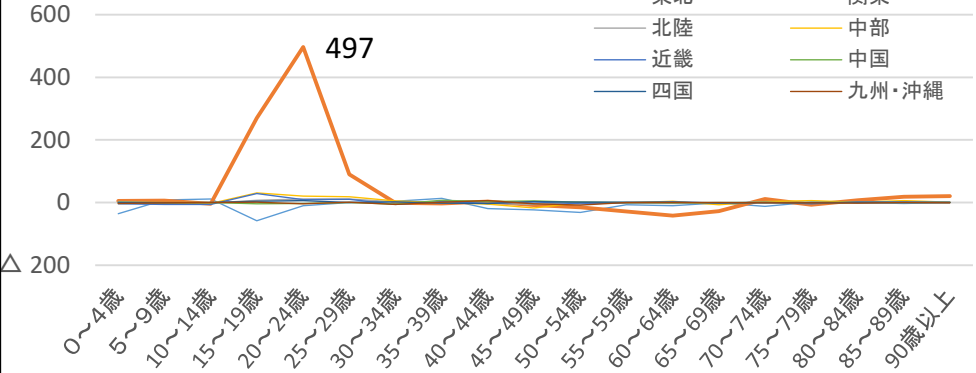


道内振興局別

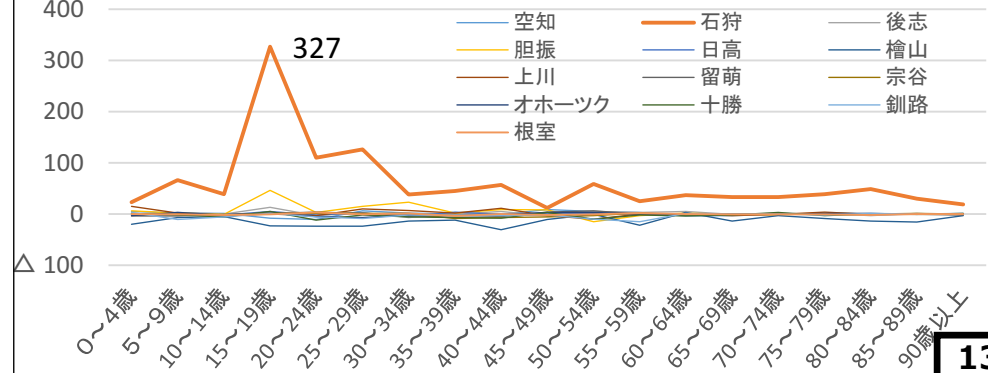


年齢別人口移動の状況(2017年)

道外



道内



[檜山地域]

主な施策と取組状況

■「日本海漁業振興基本方針」に基づく漁業の活性化など農林水産業の振興

- 過年度に取り組んだ養殖実証試験等のうち新たな産業となる見込みのあるものに対し支援措置の検討
- 道南スギ等の地域材需要拡大に向けて建築関係者を交えた検討会を開催し、消費者ニーズの見込まれる商品の検討を実施
- ハウス立茎アスパラガスの栽培技術改善による増収効果実証試験の実施及び、生産者に対し栽培改善方法の普及指導を実施

■安全で快適に暮らすことのできる地域社会の形成

- 看護師確保・定着に向けた「めざせ看護師！檜山塾」（H30. 7. 26～27、H30. 12）の実施、セミナー開催周知のための情報発信
- 「ひやまSHOWがウィーク」の開催（障がい者就労支援事業所の展示・販売、檜山圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会の開催、パネル展示など）

○町、関係機関と連携した地域包括ケアの推進（支援センター連絡会議の開催、包括ケアに関する町支援の実施、地域の人材の養成と資質の向上）

■歴史・文化・食・自然を活かした交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携事業の実施（大田区における「ひやま食と観光フェア」開催など）
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャー事業の実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
新たに養殖に取り組む漁業者数	—	27人 (H29)	30人 (H31)	90.0%	
自主防災組織の組織率	48% (H26)	57% (H28)	81% (H31)	70.4%	
管内への観光入込客数	100万人 (H26)	102万人 (H29)	120万人 (H31)	85.0%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	38,807人		H28	38,037人		H29	37,120人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	484人	340人	459人		△460人	△442人	△454人		
転出超過の状況 (振興局)	渡島管内 250人		石狩管内 146人	空知管内 21人	同 (道外)		46人		

- 管内人口の1%以上にあたる約400人の流出が継続して推移。15～29歳が約4割を占めており、若い世代の転出が目立つ。転出先別では渡島管内への転出が多いが、15～24歳の転出を見ると石狩管内への転出が多くなっており進学や就職によるものと考えられる。
- 男女別の転出超過の状況と比較すると、女性が全体の約6割を占めており、特に石狩管内への転出が男性の約2倍となっている。

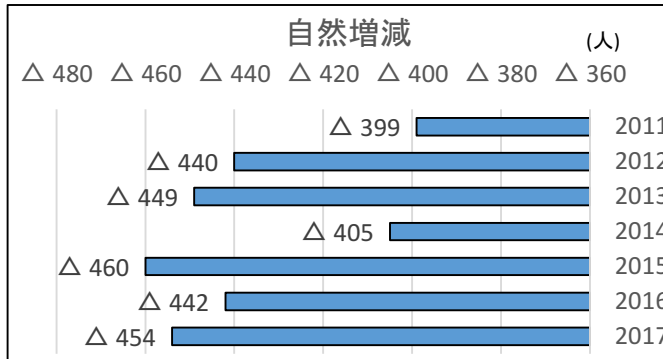
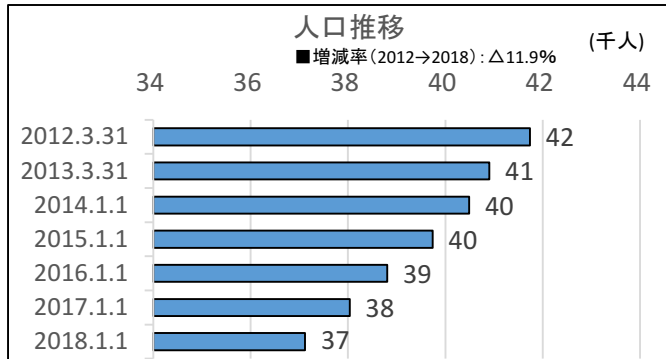
檜山地域の中心都市の状況

	江差町			今金町			せたな町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	八雲町 9人	函館市 36人	関東 14人	せたな町 15人	函館市 23人	北陸 中部 近畿 3人	室蘭市 7人	札幌市 36人	関東 18人
2位	安平市 6人	札幌市 23人	中部 2人	乙部町 5人	苫小牧市 七飯町 10人		伊達市 5人	函館市 26人	中国 5人
3位	稚内市 5人	室蘭市 11人	近畿 九州・沖縄 1人	網走市 白老町 4人		九州・沖縄 1人	奥尻町 4人	今金町 15人	東北 3人
4位	登別市 奥尻町他2 4人	厚沢部町 9人			森町 3人		伊達市 5人	小樽市 えりも町 3人	七飯町 乙部町 7人
5位		七飯町他1 8人							

課題

管内人口の1%にあたる約400人が継続して流出。全道を上回るスピードで人口減少が進んでおり、持続可能な地域社会を実現するため、地域の強みと可能性を活かした施策の計画的、効果的な推進が必要。

檜山地域の人口動態

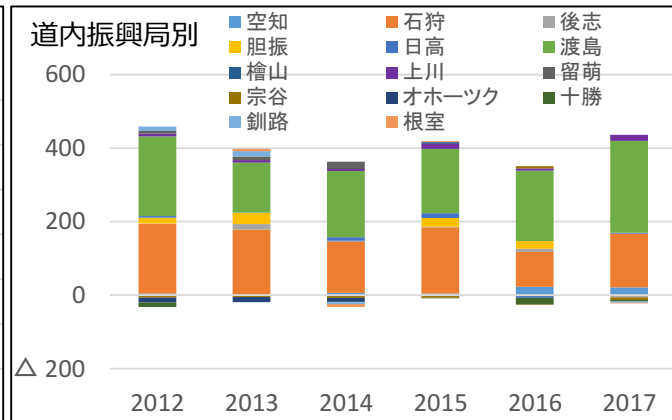
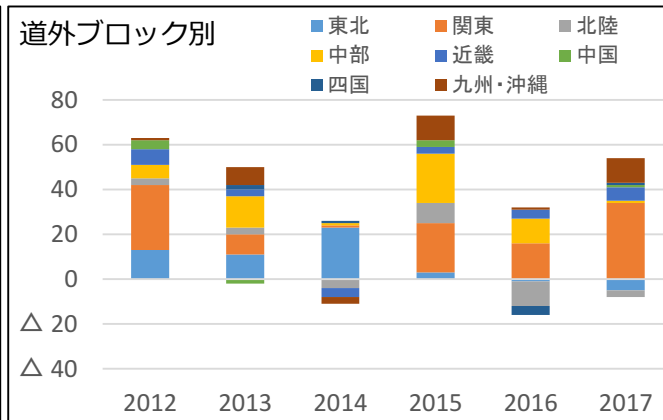
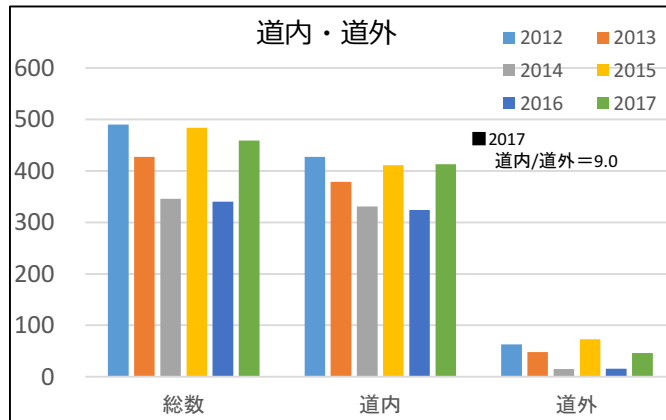


男女別転出超過数 (2017年)

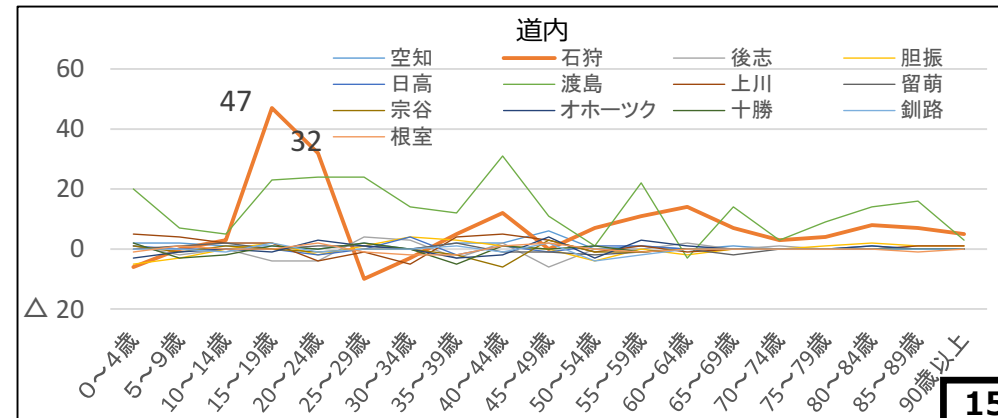
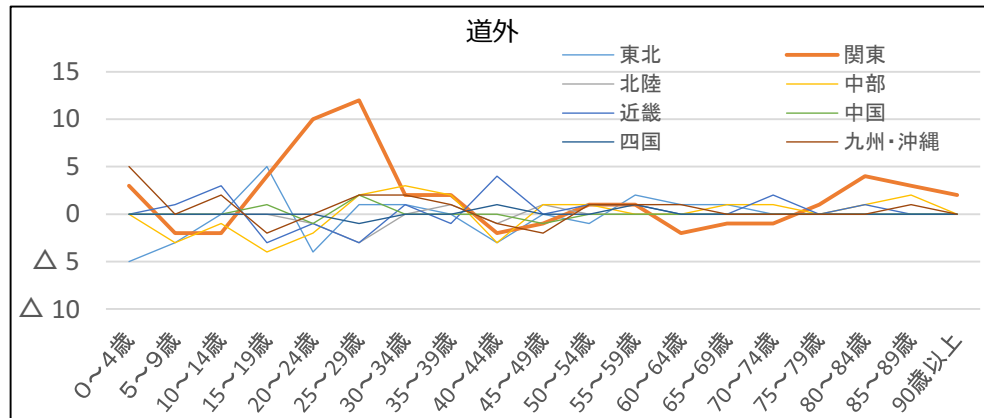
■関東 男/女=0.7 ■石狩 男/女=0.6

都道府県ブロック	総数	男	女	振興局			
				総数	男	女	
東北	$\Delta 5$	5	$\Delta 10$	空知	21	16	5
関東	34	14	20	石狩	146	55	91
北陸	$\Delta 3$	$\Delta 2$	$\Delta 1$	後志	$\Delta 6$	$\Delta 5$	$\Delta 1$
中部	1	2	$\Delta 1$	胆振	0	$\Delta 8$	8
近畿	6	0	6	日高	3	4	$\Delta 1$
中国	1	$\Delta 3$	4	渡島	250	117	133
四国	1	1	0	上川	16	7	9
九州・沖縄	11	2	9	留萌	0	0	0
合計	46	19	27	宗谷	$\Delta 7$	$\Delta 9$	2
				オホーツク	0	1	$\Delta 1$
				十勝	$\Delta 4$	$\Delta 3$	$\Delta 1$
				釧路	$\Delta 4$	$\Delta 5$	1
				根室	$\Delta 2$	$\Delta 2$	0
				合計	413	168	245

地域別転出超過の状況 (年別)



年齢別人口移動の状況 (2017年)



[上川地域]

主な施策と取組状況

- 天塩川や大雪山など魅力ある地域資源を活かした上川地域への来訪促進
 - 北海道150年のキーパーソンで天塩川にゆかりのある松浦武四郎を軸に、地域において記念式典を開催するとともに絵本、天塩日誌現代語版等を制作し、魅力発信と天塩川愛を醸成
 - 大雪カムイミントラPRサポーターの提供写真を活用した情報発信の継続
 - 管内自治体を対象とした大雪ブランディング・集客強化セミナーの実施
 - 旭川空港利用拡大期成会と連携した航空会社や関係機関への営業、空港利用促進PRの実施
- 「上川百万石」の米や野菜、森林など地域の強みを活かした農林業の振興
 - 農業の省力化・高収益化の推進（米の高品質化、畑作物の生産性向上、新規作物の導入の支援）
 - 有機農業技術の普及促進や消費者への理解促進に向けた取組（各種農業イベントによるPRの実施（2回）、現地検討会の開催）
 - 天然広葉樹林の伐採・造材技能、丸太の評価など、地域の林業事業者等技術者の能力向上に必要な知識及び技能の習得に関する研修会の開催
- 人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者の確保・育成
 - 新規就農者等を対象に、生産技術や経営管理等の知識習得に向けた研修会を実施
 - 農業及び就農への関心を深めてもらうため、高校生を対象に、先進的農家視察や農業講演会等を実施。林業への関心を深めてもらうため、高校生を対象に、林業学習会を実施。
 - 中高生を対象に木材に関わる地場産業の魅力を発信するための検討会を行う「未来づくり感響（かんきょう）プロジェクト検討会」を発足

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
管内への観光入込客数	1,862万人 (H26)	1,963万人 (H29)	2,063万人 (H31)	95.2%	
省力化による作物作付面積の維持	79,213ha (H25)	79,535ha (H27)	79,000ha (H31)	100.7%	
上川管内の木材・木製品出荷額	17,369百万円 (H25)	24,226百万円 (H27)	21,940百万円 (H31)	110.4%	
管内の農林水産業新規就業者数	農業 124人 (H25)	107人 (H28)	150人 (H31)	71.3%	
	林業 36人 (H25)	28人 (H27)	40人 (H31)	70.0%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	509,984人		H28	505,390人		H29	501,046人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増	H27	H28	H29		
	1,590人	1,886人	1,701人		△2,820人	△2,967人	△3,226人		
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 1,694人		後志管内 84人	十勝管内 41人	同 (道外)		568人		

- 上川管内の転出超過数は増加傾向にあり、首都圏(15~24歳)とあわせ、石狩管内への転出超過(15~40歳)が大きい。
- 一方で、東川町、当麻町、下川町、占冠村などでは、地方創生の特色ある取組を推進し、転出超過又は転出抑制を実現している。

上川地域の中心都市の状況

	旭川市			名寄市			富良野市		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	名寄市 139人	札幌市 1,117人	関東 534人	稚内市 23人	旭川市 139人	関東 34人	占冠村 18人	旭川市 100人	中部 6人
2位	富良野市 100人	帯広市 48人	東北 49人	中川町 13人	札幌市 119人	九州・沖縄 20人	北見市 士別市 滝川市 新冠町 7人	札幌市 81人	九州・沖縄 1人
3位	士別市 98人	東川町 45人	中国 40人	上富良野町 12人	恵庭市 23人	中部 10人		南富良野町 18人	
4位	深川市 71人	恵庭市 39人	近畿 25人	帯広市 10人	江別市 小樽市他2 8人			中富良野町 12人	
5位	北見市 64人	小樽市 23人	北陸 23人	雄武町 9人				美瑛町他1 9人	

課題

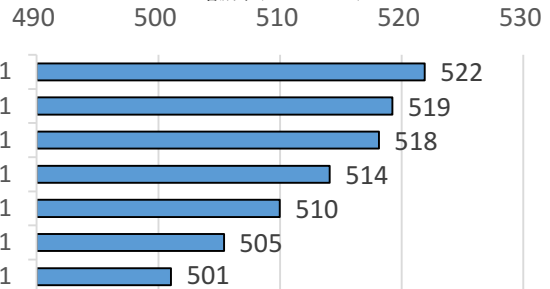
首都圏、石狩管内を中心に転出超過が続いており、北部地域も含めた広域観光の定着・交流人口の拡大や、地域就業者の定着、雇用のミスマッチ解消に向けた取組が必要。

上川地域の人口動態

人口推移

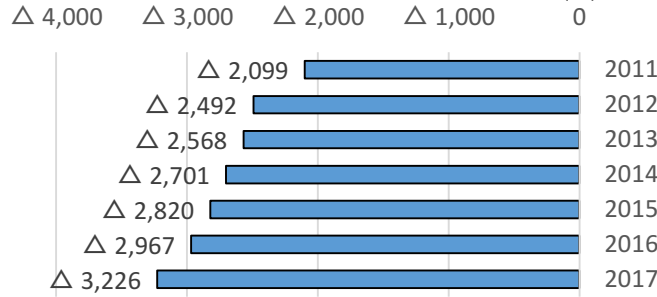
■増減率(2012→2018): △4.0%

(千人)



自然増減

(人)



男女別転出超過数(2017年)

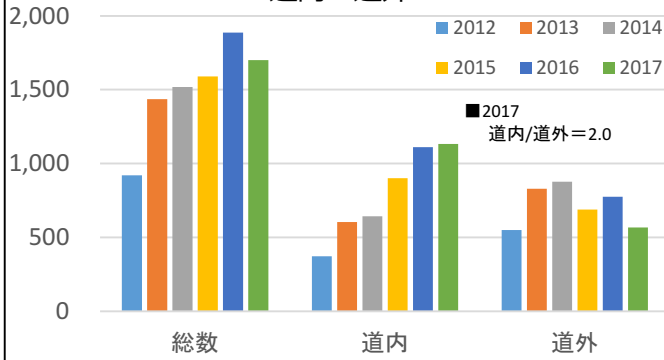
■関東 男/女=0.7

■石狩 男/女=0.6

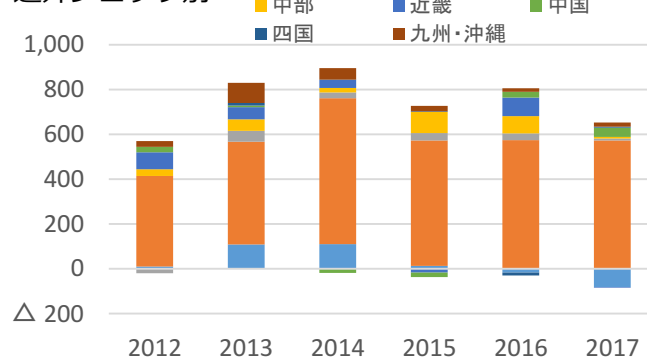
都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局	総数	男	女
東 北	△ 82	△ 55	△ 27	空 知	△ 189	△ 99	△ 90
関 東	573	231	342	石 狩	1,694	635	1,059
北 陸	8	9	△ 1	後 志	84	31	53
中 部	7	20	△ 13	胆 振	23	12	11
近 畿	△ 2	△ 5	3	日 高	△ 38	△ 23	△ 15
四 国	4	△ 5	9	渡 島	△ 25	△ 5	△ 20
九州・沖縄	18	△ 1	19	檜 山	△ 16	△ 7	△ 9
合 計	568	221	347	留 萌	△ 99	△ 59	△ 40
				宗 谷	△ 100	△ 53	△ 47
				オホーツク	△ 219	△ 61	△ 158
				十 勝	41	23	18
				釧 路	△ 29	△ 7	△ 22
				根 室	6	6	0
				合 計	1,133	393	740

地域別転出超過の状況(年別)

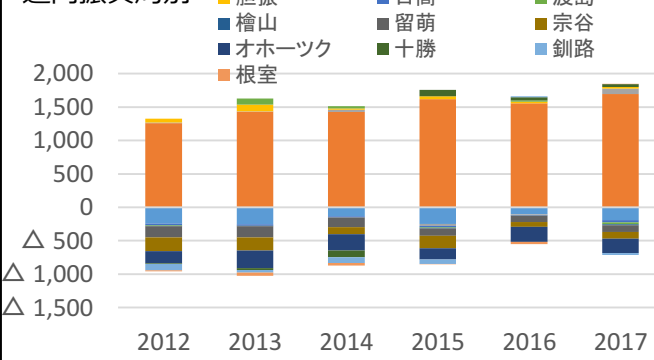
道内・道外



道外ブロック別

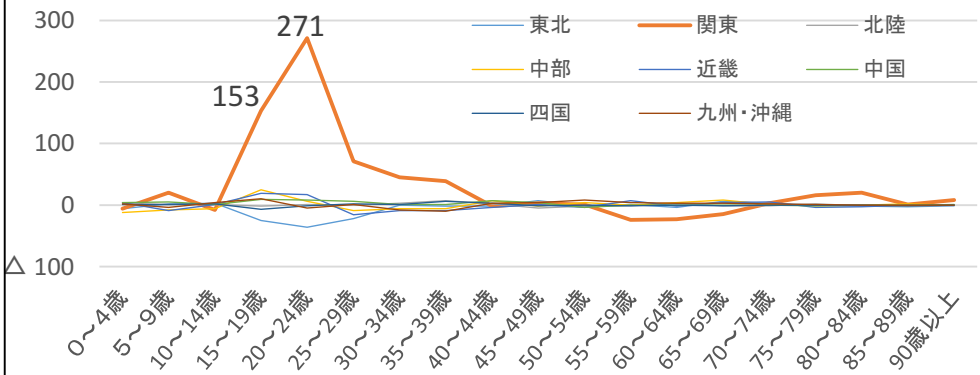


道内振興局別

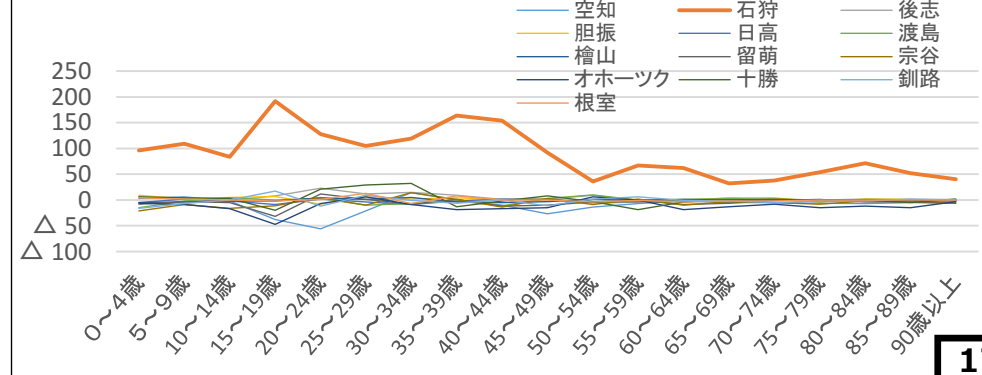


年齢別人口移動の状況(2017年)

道外



道内



[留萌地域]

主な施策と取組状況

■南北に細長く自然条件に応じて展開される多彩な農林水産業の振興と雇用の創出

○水稲栽培の労働力低減・低コスト栽培のための試験栽培（25カ所）や、硬質小麦（ルルロソ）の産地化を推進（実証展示圃2カ所設置）

○エディブルフラワー（食用花）の生産及び販売数の安定化による販路拡大（H29：406パック出荷/前年比+24.5%）

○主要漁業であるホタテガイ養殖業の生産性向上のため、生産工程効率化や就労環境の改善に向けた取組を実施

○トドマツ資源の有効活用のため、安定供給に向けた共同施策等の取組及び木質バイオマス利用拡大セミナー開催等の普及啓発活動を実施

○振興局内に「食と観光・働き手対策室」を新設し、関係課によるプロジェクトチームを立ち上げ、人材確保に関する施策連携や情報共有を図るとともに、産業間の連携により地域間での労働力の融通を図るべく、行政、関係団体による「留萌管内働き手対策検討会」を立ち上げ、担い手や働き手の問題の解決に向けた検討を実施。

■札幌圏や旭川圏からのアクセスの良さを活かした日本海オロロンラインへの交流人口の拡大

○観光振興により交流人口の増加と域内消費の拡大を目指し、管内市町村関係機関を構成員とする協議会を開催し、地域連携DMOの設立に向けた検討を実施

○道外観光商談会への出展等のプロモーション業務を実施し、知名度と集客の向上につながる機会を創出

○平成28年度に全線再生した増毛山道について、北海道150年記念山道シンポジウムや、山道トレッキングの開催（8回）、記念標柱や解説看板を設置

○平成31年度に予定されている深川・留萌自動車道全線開通を契機とした管内連携の取組として、スタンプラリー等を実施

○一般社団法人留萌青年会議所よる音楽合宿など、文化・スポーツ合宿の受入れのほか、練習・宿泊施設を掲載したガイドブックの作成や合宿費用の一部助成といった促進施策を展開

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
新規就農者	8人 (H21～H25平均)	8人 (H29)	10人 (H31)	80.0%	
管内への観光入込客数	139万人 (H26)	137万人 (H29)	145万人 (H31)	94.5%	
管内ちょっと暮らし利用者数	37人 (H26)	41人 (H29)	40人 (H31)	102.5%	

■留萌地域に住み続けたいと思える生活環境づくり

○地域医療構想調整会議や圏域連携推進会議等を開催し、効率的な医療提供のための連携方策について検討（H29：5回、H30：5回予定）

○管内への医療従事者を呼び込むための地域PRと移住体験の促進

○管内市町村等との連携による移住パンフレットの更新や、首都圏等イベントでのPRを実施（2回予定）

管内の人口動態分析

人口推移	H27	48,696人			H28	47,789人			H29	46,834人		
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29	H27	H28	H29		
	536人	511人	588人		△438人	△447人	△433人					
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 327人		上川管内 99人	空知管内 78人	同 (道外)			49人				

○転出超過・自然減ともに高い水準にあり、人口減少が進んでいる。転出者のうち、世代別では15～19歳が最も多く約13%を占めており、高校卒業後の進学や就職によるものと考えられる。また、35歳～44歳の転出者も1割を超えており労働人口の転出が顕著となっている。

○一方、25～29歳については、唯一転入超過となっており、結婚や事業の承継などで一定のリターン者があるものと考えられる。

留萌地域の中心都市の状況

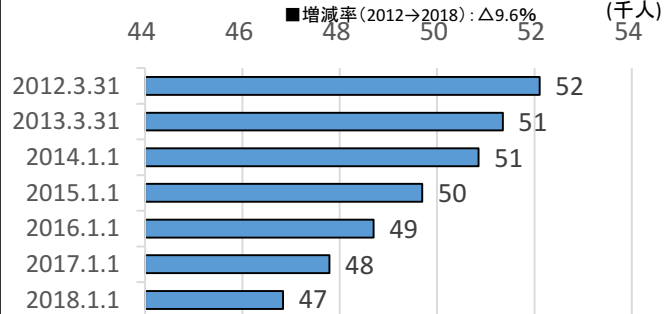
	留萌市			増毛町			羽幌町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	帯広市 19人	札幌市 180人	関東 39人	苫前町 3人	札幌市 24人	関東 6人	小樽市 稚内市 石狩市 5人	札幌市 42人	関東 5人
2位	増毛町 18人	旭川市 53人	中部 8人	羽幌町 天塩町 2人	留萌市 18人	中部 2人		旭川市 14人	近畿 3人
3位	苫前町 16人	深川市 20人	九州・沖縄 5人		旭川市 11人	北陸 近畿 中国 1人	士別市 7人	帯広市 紋別市 4人	留萌市 枝幸町他3 5人
4位	稚内市 根室市 8人	小樽市 14人	赤平市 夕張市他2 1人	江別市 6人	小平町 4人				
5位		江別市 12人							

課題

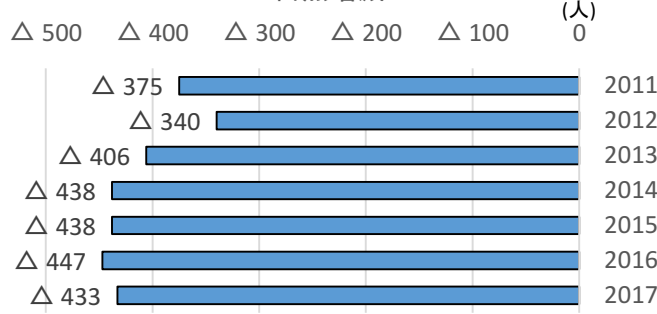
転出超過、自然減ともに高い水準にあり、また、労働力人口の転出が顕著となっている。基幹産業である第1次産業をはじめ、各産業の後継者不足、繁忙期の人手不足への対応や、交流人口の拡大に向け、地域の成長エンジンである「食」と「観光」の知名度向上が必要。

留萌地域の人口動態

人口推移



自然増減

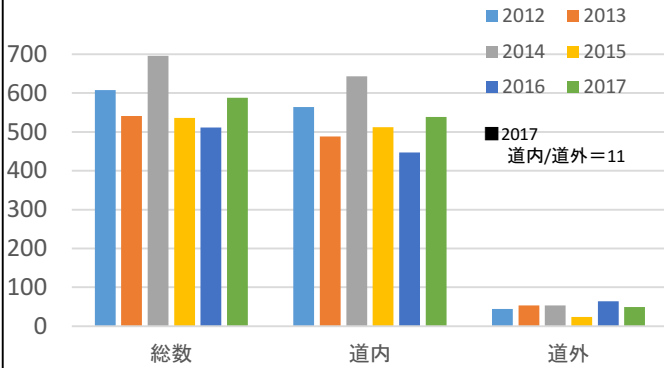


男女別転出超過数(2017年)

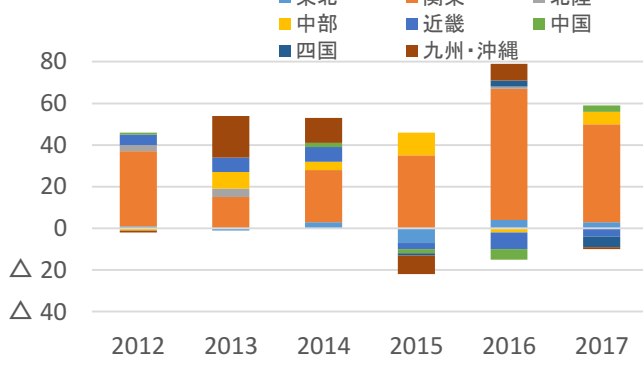
都道府県ブロック	関東 男/女=0.7			石狩 男/女=0.6			
	総数	男	女	振興局	総数	男	女
東北	3	3	0	空知	78	35	43
北陸	0	△1	1	石狩	327	117	210
近畿	△4	0	△4	後志	21	14	7
中国	3	0	3	胆振	8	1	7
四国	△5	△3	△2	日高	19	9	10
九州・沖縄	△1	△3	2	渡島	12	△2	14
合計	49	14	35	檜山	0	0	0
				上川	99	59	40
				宗谷	5	△10	15
				オホーツク	△15	△12	△3
				十勝	△12	△5	△7
				釧路	15	7	8
				根室	△18	△9	△9
				合計	539	204	335

地域別転出超過の状況(年別)

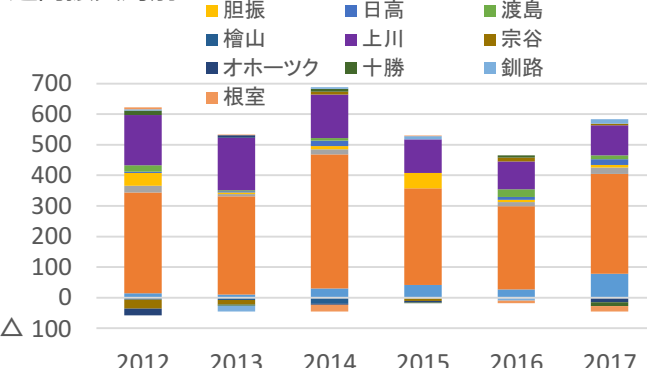
道内・道外



道外ブロック別

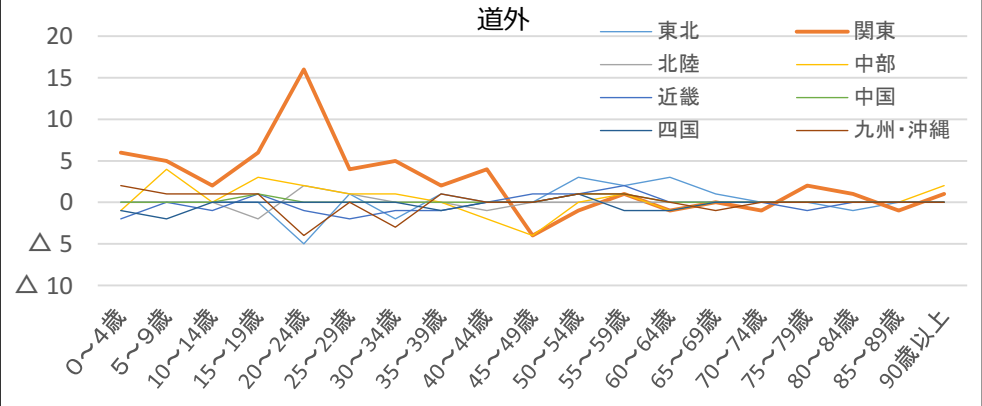


道内振興局別

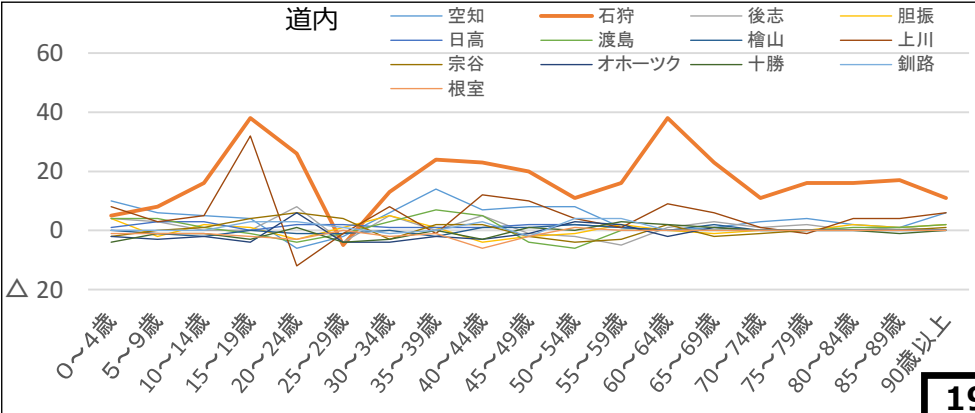


年齢別人口移動の状況(2017年)

道外



道内



[宗谷地域]

主な施策と取組状況

■豊かな土地資源を活かした酪農と海域の特性に応じた栽培漁業の推進

- 農業系大学への「宗谷酪農PRセミナー」(5回実施済[道外大学2校、道内大学3校])や「宗谷酪農体験ツアー」の開催(11人参加[道外大学生8人、道内大学生3人])
- 酪農家及び地域住民等を対象にチーズセミナー(3回実施済)、食クラスター「フード塾」宗谷地域検討会(2回実施予定)や巡回アドバイス(3回実施済、5回実施予定)の開催
- 「宗谷新規就農支援ネットワーク」を活用し、関係機関一体となった広域的な受入の推進、栽培漁業の推進や新たな魚種の生産・放流技術の確立及び漁業者への技術普及・定着の促進
- 管内日本海沿岸区域の高校・大学を対象に漁業の魅力発信や実地研修を行う地域版漁業修行支援フェアの開催

■手つかずの大自然とひとの魅力を活かした移住・定住の推進

- 管内の高校に通う高校生を対象に、地域の魅力を発信する「宗谷の高校生広告社」を作成するワークショップの実施
- 医師・看護師の移住定住を促進させるため、宗谷地域外から移住してきた医師等へ取材を行い、宗谷で働く魅力を記事として情報発信する「宗谷地域医師・看護師確保対策事業」の実施
- 宗谷ファン層の拡大に向けて、宗谷の地域で働く職人や気候・環境の情報発信を都市部に行う「魅せる！発信力UP事業」の実施

■サハリン州との交流や離島などの地域の特色を活かした観光の促進

- 利尻町の島の駅「海藻の里・利尻」を拠点として、海藻押し葉を活用した地域文化の体験観光の実施及び産品製造、民泊の検討
- 北宗谷地域における外国人観光客の長期滞在や周遊促進を図るため、使用期間内におけるフェリーと路線バスが乗り放題となるフリーパスの販売
- 滞在期間の長期化を目指した新たな周遊ルートの開発
- 宗谷管内に潜在する観光資源の磨き上げを行い道内外へ情報発信をするとともに、地域住民への認識を広めることを通じて地元愛の醸成を図る「宗谷の歴史・文化」魅力発信による観光地域づくり推進事業の実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
新規就農者数	11人 (H25)	9人 (H29)	20人 (H32)	45.0%	【目標値見直し】 20人(H32)
新規漁業就業者数	36人 (H24)	27人 (H29)	40人 (H31)	67.5%	
若年層(15~34歳)の人数	10,518人 (社人研推計値H31)	10,703人 (H29)	10,800人 (H31)	—	
外国人宿泊延数	1.3万人 (H25)	2.6万人 (H29)	3.6万人 (H31)	72.2%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	67,327人		H28	66,161人		H29	65,039人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	763人	657人	738人		△416人	△521人	△475人		
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 480人		上川管内 100人	胆振管内 60人	同 (道外)		17人		

○年齢別に見ると、転出超過は15~19歳が最も多く、20~29歳は転入超過となっている。10代は進学による転出が顕著であることが推察されるが、中でも石狩管内への転出超過が約9割を占めており、札幌圏の高校や大学への進学が高いものとみられる。

宗谷地域の中心都市の状況

	稚内市			枝幸町			豊富町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	紋別市 14人	札幌市 258人	関東 33人	羽幌町 5人	札幌市 40人	北陸 九州・沖縄 4人	枝幸町 6人	札幌市 26人	九州・沖縄 4人
2位	豊富町 礼文町 13人	千歳市 36人	中部 21人	利尻町 遠軽町 4人	旭川市 10人		関東 中部 3人	帯広市 天塩町 5人	稚内市 13人
3位		名寄市 23人			稚内市 中頓別町 8人	関東 中部 3人			中頓別町 5人
4位	倶知安町 10人	帯広市 17人		江別市 上ノ国町他1 3人			東北 2人	旭川市 羅臼町 4人	苫小牧市 北広島市 4人
5位	釧路市 9人	岩見沢市 15人				豊富町他2 6人			

課題

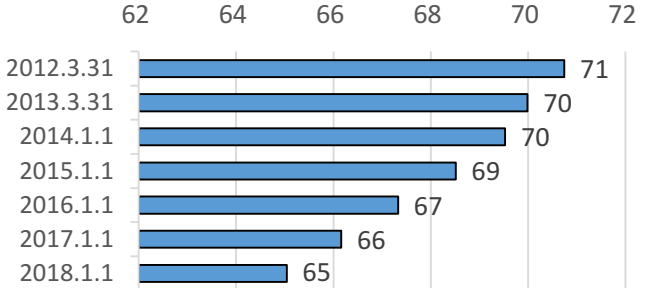
転出超過が継続し、その多くを石狩管内が占めている。宗谷への人の呼び込みに向けて、地域の「しごと」や「資源」の魅力をも道内外へ広く発信するなど、宗谷の認知度を高める取組に加え、地域自らが地域の魅力を再認識し、地域内外に発信する取組が必要。

宗谷地域の人口動態

人口推移

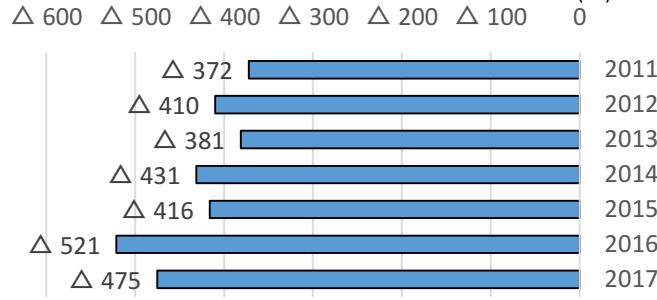
■増減率(2012→2018): △8.5%

(千人)



自然増減

(人)



男女別転出超過数(2017年)

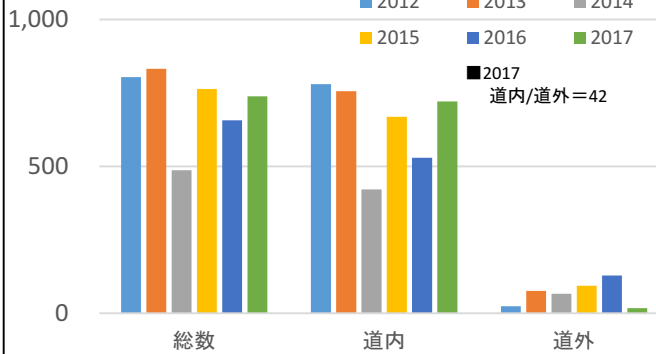
■石狩 男/女=0.5

都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局			
				振興局	総数	男	女
東北	△ 2	0	△ 2	空知	34	15	19
関東	25	△ 2	27	石狩	480	152	328
北陸	8	10	△ 2	後志	18	19	△ 1
中部	13	2	11	胆振	60	33	27
近畿	△ 18	△ 14	△ 4	日高	6	6	0
中国	△ 8	△ 7	△ 1	上川	24	15	9
四国	△ 3	△ 2	△ 1	檜山	7	9	△ 2
九州・沖縄	2	4	△ 2	オホーツク	100	53	47
合計	17	△ 9	26	留萌	△ 5	10	△ 15
				十勝	34	20	14
				釧路	△ 38	△ 21	△ 17
				根室	△ 10	△ 9	△ 1
				合計	721	311	410

地域別転出超過の状況(年別)

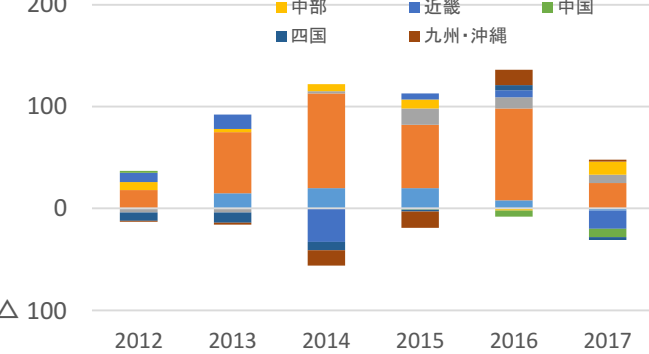
道内・道外

■2012 ■2013 ■2014
■2015 ■2016 ■2017
■2017 道内/道外=42



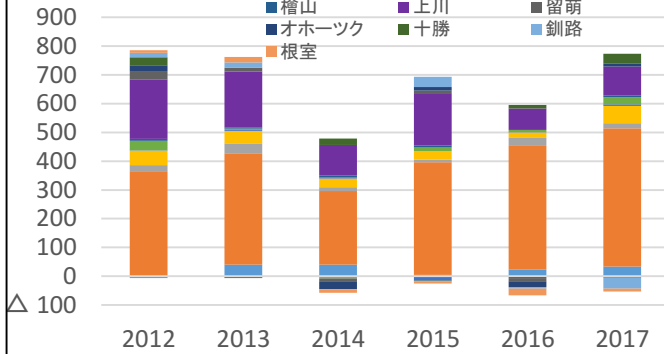
道外ブロック別

■東北 ■関東 ■北陸
■中部 ■近畿 ■中国
■四国 ■九州・沖縄



道内振興局別

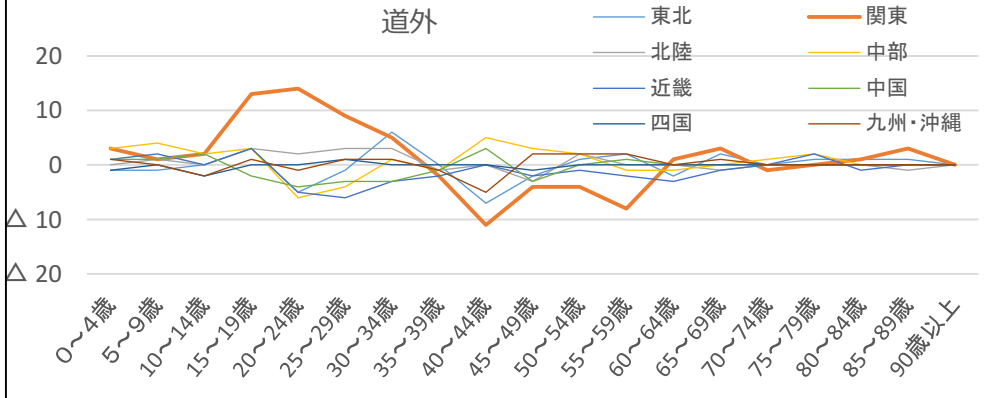
■空知 ■石狩 ■後志
■胆振 ■日高 ■渡島
■檜山 ■上川 ■留萌
■オホーツク ■十勝 ■釧路
■根室



年齢別人口移動の状況(2017年)

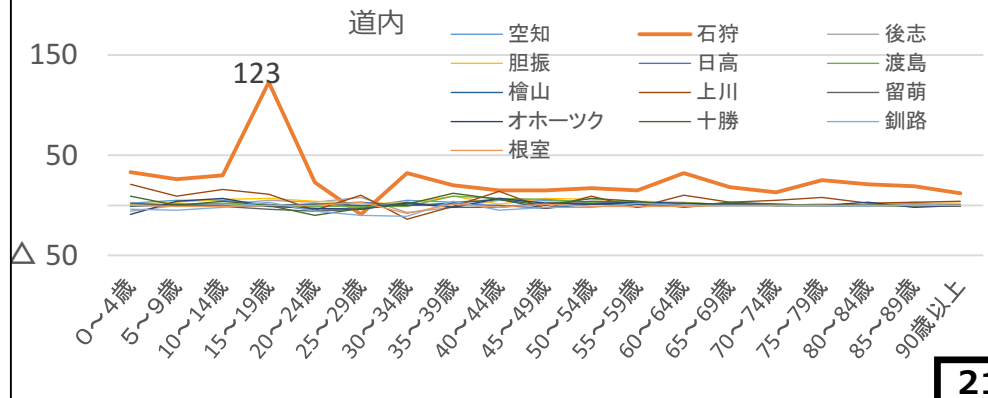
道外

—東北 —関東
—北陸 —中部
—近畿 —中国
—四国 —九州・沖縄



道内

—空知 —石狩 —後志
—胆振 —日高 —渡島
—檜山 —上川 —留萌
—オホーツク —十勝 —釧路
—根室



[オホーツク地域]

主な施策と取組状況

■国内外への販路拡大などによる農林水産業の強化

- スマート農業技術の推進を目的に「オホーツク・スマート農業セミナー2018」を開催（H30.11、H31.1）
- ICT農業の推進を図るため、先進事例の調査や導入事例の調査・効果検証等を行う推進会議の構築
- 次世代の農業者を志向する者に対し、経営確立を支援する資金の交付
- オホーツク地域の大学と連携した林業インターンシップの実施
- ハザードマップ作成によるほたてがい漁場の管理、災害に強い魚礁移設の実施

■豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

- 産官学で連携し、6次産業化へ向けた検討会議の開催
- オホーツク管内の菓子店業者や地域関係者等と連携を図り、小麦を中心とした、オホーツクの優れた農畜産物を使った新たな商品開発や販路開拓・拡大の実施
- オホーツクフェアの開催により、国内外への販路拡大を推進（H30.1）

■人口減少社会を見据えたオホーツク地域への来訪促進

- 市町村と振興局が保有するSNS及びWebサイトでの情報共有による地域PR情報の拡散
- 農村ツーリズムの各市町の取組状況の聞き取りを行い、要望に応じて勉強会を開催
- 自然案内に関わる人材を対象とした外国人対応能力向上に資する講習会の実施

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
輸出に取り組む農業者団体数	3団体 (H25)	7団体 (H29)	8団体 (H31)	87.5%	
サケEU-HACCP取得業者数	1団体 (H26)	2団体 (H29)	4団体 (H31)	50.0%	
オホーツク産小麦使用の菓子店数	14店 (H26)	35店 (H29)	50店 (H31)	70.0%	
農水産物を活かしたオホーツク製品の延べ商談件数	—	101件 (H27～29累計)	180件以上 (H27～31累計)	56.1%	
管内への観光入込客数	846.9万人 (H25)	906.3万人 (H29)	907万人 (H31)	99.9%	
外国人宿泊者延数	7.9万人 (H25)	13万人 (H29)	25万人 (H31)	52.0%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	293,259人		H28	289,331人		H29	285,525人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	2,038人	2,182人	2,057人		△1,779人	△1,912人	△1,953人		
転出超過の状況 (他振興局管内)	石狩管内 1,225人		上川管内 219人	十勝管内 104人	同 (道外)		452人		

- 転出超過は進学や就職による都市部への集中が顕著であり、石狩管内が全体の約6割を占めている。続いて、オホーツク管内に隣接し、大きな都市がある上川管内、十勝管内への転出超過が多い。
- 転出超過のH29の男女別の状況については、男性が895人、女性が1,162人と女性が上回っており、男性に比べて女性の働き口が少ないことが転出の要因として推測される。

オホーツク地域の中心都市の状況

	北見市			網走市			紋別市		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	美幌町 77人	札幌市 436人	関東 194人	斜里町 25人	札幌市 192人	関東 24人	網走市 13人	札幌市 102人	関東 24人
2位	津別町 54人	旭川市 64人	東北 62人	千歳市 13人	北見市 51人	東北 13人	帯広市 興部町 8人	北見市 22人	中部 14人
3位	網走市 51人	帯広市 44人	近畿 44人	室蘭市 9人	旭川市 43人	北陸 5人		稚内市 14人	四国 11人
4位	訓子府町 36人	釧路市 22人	中国 13人	美幌町 8人	帯広市 40人	中部 1人	西興部村 7人	江別市 13人	中国 4人
5位	遠軽町 33人	小樽市 20人	北陸 7人	佐呂間町他1 7人	江別市 16人		釧路市 6人	室蘭市 11人	

課題

石狩管内を中心に転出超過の状況が続いており、女性の転出が男性を上回る。基幹産業である一次産業の担い手確保と地域への定着、オホーツクの知名度向上に向けた効果的なプロモーションの継続が必要。

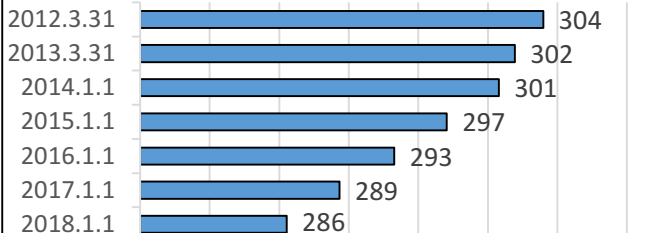
オホーツク地域の人口動態

人口推移

■増減率(2012→2018): △5.9%

(千人)

275 280 285 290 295 300 305 310

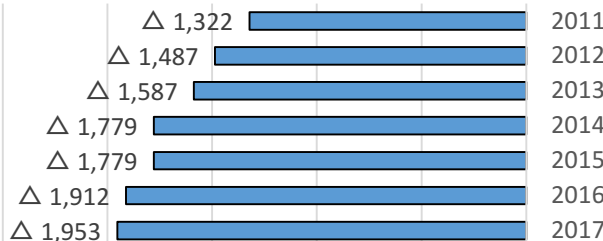


■地域別転出超過の状況(年別)

自然増減

(人)

△ 2,500 △ 2,000 △ 1,500 △ 1,000 △ 500 0

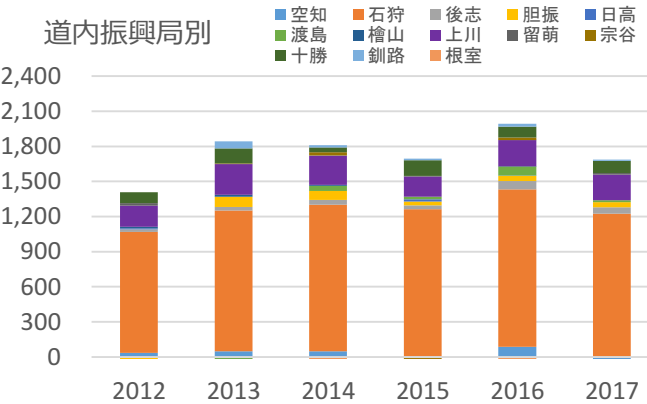
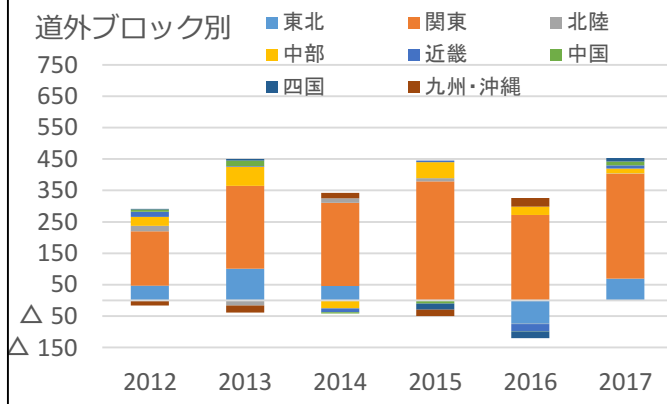
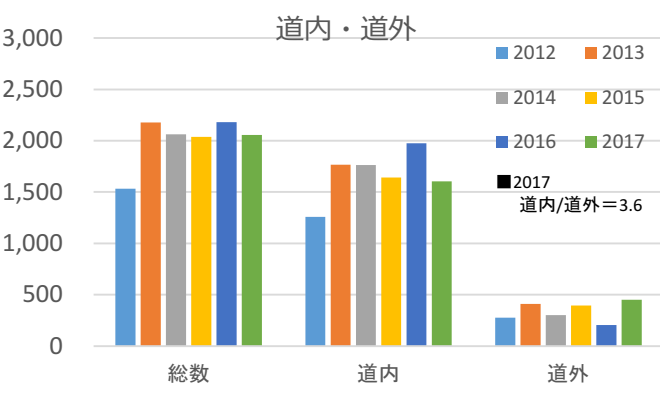


男女別転出超過数(2017年)

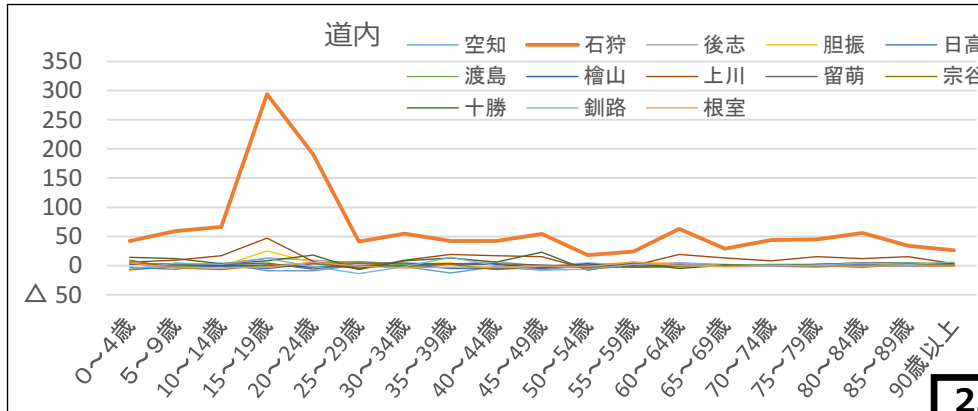
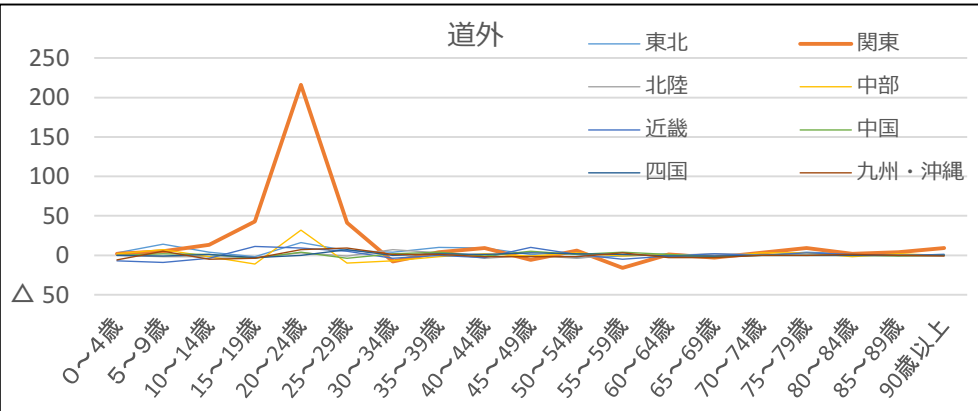
■関東 男/女=0.7

■石狩 男/女=0.7

都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局			
				振興局	総数	男	女
東北	69	23	46	空知	△ 31	△ 15	△ 16
				石狩	1,225	511	714
				後志	55	35	20
関東	334	135	199	胆振	44	35	9
				日高	△ 26	△ 16	△ 10
北陸	1	2	△ 1	渡島	15	5	10
				檜山	0	△ 1	1
中部	16	11	5	上川	219	61	158
				留萌	15	12	3
近畿	10	△ 8	18	宗谷	△ 11	△ 9	△ 2
				十勝	104	69	35
中国	12	9	3	釧路	9	19	△ 10
				根室	△ 13	3	△ 16
四国	11	10	1	根室	△ 13	3	△ 16
				根室	△ 13	3	△ 16
九州・沖縄	△ 1	4	△ 5	根室	△ 13	3	△ 16
合計	452	186	266	合計	1,605	709	896



■年齢別人口移動の状況(2017年)



[十勝地域]

主な施策と取組状況

■「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興

- 首都圏の包括連携企業等の社員食堂の活用並びに首都圏及び中京圏の調理師専門学校との連携による研修旅行の誘致等を通じた十勝产品及び十勝ブランドのPR
(社員食堂の活用：H28 2社、H29 2社 調理師専門学校との連携：H28 4校、H29 5校 [誘致モニターツアー2回])
- 前年度に実施した外国人向け商品の販売及びニーズの調査結果を踏まえた商品の開発等の支援
- 国内の富裕層に向けた長期体験ツアーを実施し、十勝の新しい滞在型観光のモデルを構築するとともにSNS等による情報発信の取組を強化
- 各地域の魅力を活かした観光を支援するため、管内DMO候補法人や関係団体などが情報交換や連携を図る会議の開催

■バイオマス資源の活用や航空・宇宙等に関する実証実験等の誘致

- 関係機関と連携し、航空宇宙関連ビジネスの経済波及効果や理解促進に向けたセミナーを実施するとともに、各種イベントにおいて十勝航空宇宙関連の取組のPRを実施
- GPSを活用したトラクターの自動化、農業へのロボット技術など、地域への導入に対応する取組を推進するため、関係機関・団体による検討会やセミナーの開催
(H28実演会1回・セミナー1回開催、H29.11スマート農業フェア開催)
- 本庁や関係機関と連携し、航空宇宙関連ビジネスに係る相談窓口の設置

■多様な人材の活躍による地域活性化

- 女性活躍促進のための取組(ポジティブ・アクション)に積極的に取り組んでいる企業で働く女性や管内で活躍している女性を取材し、先進事例として情報発信
(ロールモデルの発信H28:13件、H29:9件)
- 女性農業者の次世代リーダーの育成のため、有識者を招いたセミナー等を開催
- スマート農業(ICT)の導入促進を図るため、女性農業者等の理解促進
- 「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」を開催し(H29.9)、管内共通の課題・現状等について情報共有を図るとともに、新たな「学びのメニュー」の開発や学びを担う人材の育成・確保に向けた検討を実施
- 十勝管内で実施されている学びのメニュー情報(H28年度に調査・収集)について、作成したPR動画を効果的にシニア層へ配信

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
管内への観光入込客数	967万人 (H25)	1,042万人 (H29)	1,035万人 (H31)	100.7%	
女性キャリアデザインロールモデルの排出数(累計)	—	30件 (H29)	50件 (H31)	60.0%	

管内の人口動態分析

人口推移		H27	346,566人		H28	344,720人		H29	342,668人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29			
	625人	415人	591人		△1,250人	△1,391人	△1,485人			
転出超過の状況(振興局)		石狩管内 788人		渡島管内 52人	胆振管内 29人	同(道外)		279人		

- 道内では石狩管内へ、道外では関東への転出超過となっている。
- 転出超過数の内訳では、女性の超過数が多い(男性の超過数の約2.5倍)。
- 15～24歳層については、大幅な転出超過となっている一方、25～34歳層では、転入超過に転じている。

十勝地域の中心都市の状況

	帯広市			音更町			幕別町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	大樹町 55人	札幌市 444人	関東 208人	幕別町 24人	札幌市 110人	関東 62人	帯広市 浦幌町 15人	札幌市 98人	関東 31人
2位	釧路市 50人	函館市 21人	中国 22人	鹿追町 22人	帯広市 26人	中国 11人		音更町 24人	東北 6人
3位	旭川市 48人	留萌市 19人	近畿 17人	士幌町 20人	旭川市 23人	東北 10人	大樹町 12人	芽室町 11人	北陸 4人
4位	本別町 47人	士幌町 17人	中部 12人	釧路市 17人	足寄町 21人	九州・沖縄 8人	広尾町 7人	釧路市 7人	九州・沖縄 1人
5位	清水町他1 44人	幕別町 15人	四国 6人	浦幌町 14人	函館市 10人	北陸 6人	足寄町他1 6人	苫小牧市 5人	

課題

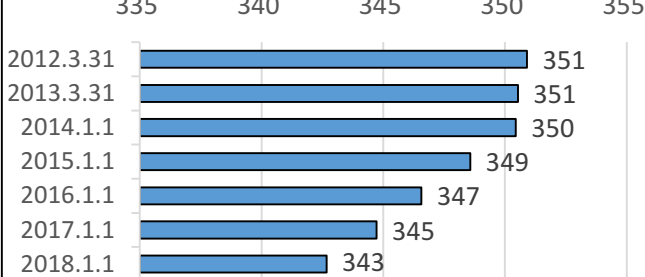
他地域に比べてその割合は小さいものの、転出超過が続いており、女性の転出超過が多くなっている。地場製品の付加価値向上・販路拡大とともに、エネルギーの地産地消の推進による災害に強い地域づくりや多様な人材がいきいきと暮らせる地域社会の形成に向けた環境整備が必要。

十勝地域の人口動態

人口推移

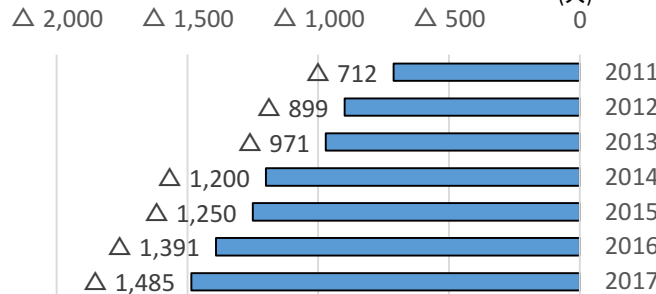
■増減率(2012→2018): △2.3%

(千人)



自然増減

(人)



男女別転出超過数 (2017年)

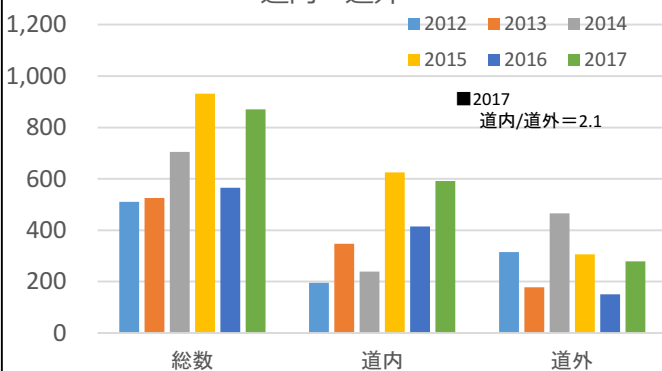
■関東 男/女=0.6

■石狩 男/女=0.5

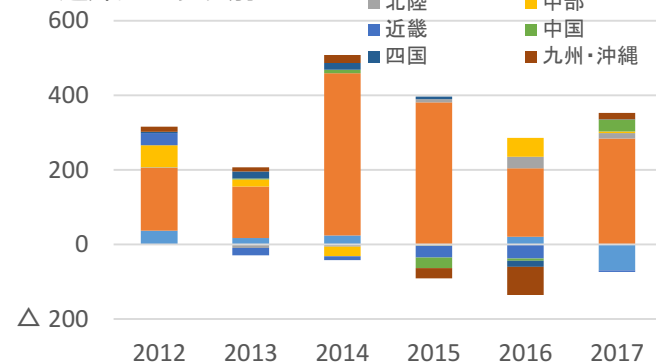
都道府県 ブロック	総数	男	女	振興局		
				総数	男	女
空知	△ 70	△ 48	△ 22	14	△ 7	21
石狩	△ 284	102	182	788	264	524
後志	15	14	1	18	0	18
胆振	4	16	△ 12	29	27	2
日高	△ 4	△ 10	6	29	△ 9	△ 19
渡島	32	12	20	52	32	20
檜山	1	5	△ 4	4	3	1
上川	△ 32	△ 10	△ 22	△ 41	△ 23	△ 18
留萌	32	12	20	12	5	7
宗谷	1	5	△ 4	△ 34	△ 20	△ 14
オホーツク	17	10	7	△ 104	△ 69	△ 35
釧路	17	10	7	△ 81	△ 41	△ 40
根室	△ 279	101	178	△ 38	△ 20	△ 18
合計	279	101	178	591	142	449

地域別転出超過の状況 (年別)

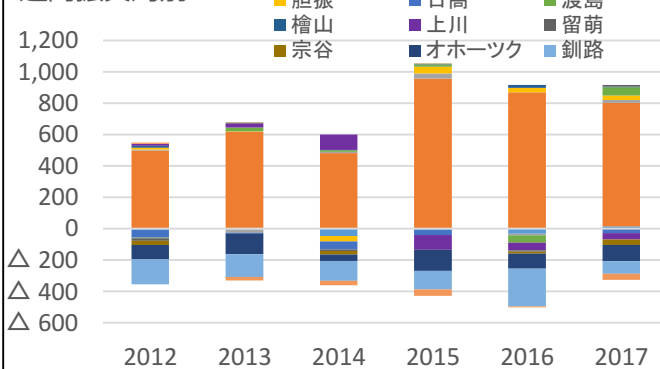
道内・道外



道外ブロック別

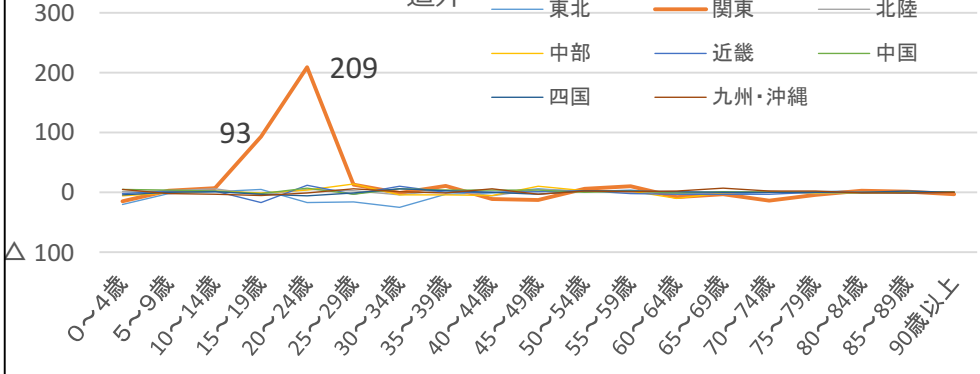


道内振興局別

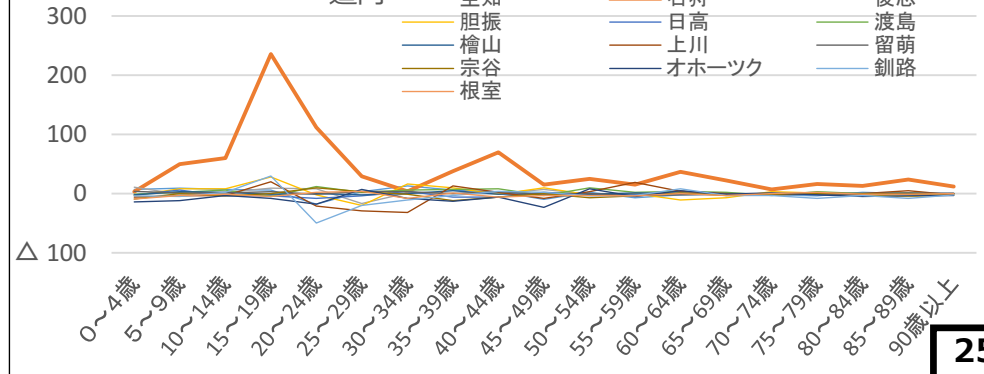


年齢別人口移動の状況 (2017年)

道外



道内



【釧路地域】

主な施策と取組状況

■「根釧酪農ビジョン」の実現に向けた具体的取組の展開

- 根釧酪農体験ツアーへの参加（H30.11予定）や、道外農業系大学等への就農ガイダンスを実施（H30.7、10、H31.1予定）
- 東京・大阪等で開催されるイベント等での地域が行う就農・就業促進活動への参加（H30.7、H31.1予定）
- 活力ある農畜産業プロジェクトを設置（「家畜の増産に向けた方策の検討」、「付加価値の高い畜産物の生産に向けた検討」）

■北海道横断自動車道（道東道）の釧路延伸を契機とした交流人口の増加に向けた取組の促進

- 「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」開催（2回、ワーキング4回程度開催）
- 多言語に対応した管内市町村観光HP等の運用によるインバウンド受入体制の整備などを推進する道東くしろ誘客促進事業の実施
- 「北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業」による教育旅行誘致及びヘルスツーリズム拡大に向けたプロモーション活動の実施（H30.4～H31.3）
- 「プライムロードひがし北海道」に係る広域観光ルート形成促進事業による広域観光ルートの形成

- 道東4振興局で合同観光プロモーションの実施（H30.7：北広島市、H30.11予定：大阪市）及び観光パンフレットの作成等

- 釧路総合振興局移住・定住推進連絡協議会の開催

■地域の持続的発展に向けた連携の強化

- 釧路町村会が実施する「地域づくり広域プロジェクト」への参画（新規：2事業、継続：8事業）
- 農業団体によるチャレンジ60「946運動」の展開（継続：3事業）

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
生乳生産量	517千トン (H26)	532千トン (H29)	539千トン (H31)	98.7%	
管内への観光入込客数	672万人 (H26)	809.9万人 (H29)	796万人 (H31)	101.7%	
地域内連携事業に係る新たな事業の創出及び既存事業の拡充	—	7事業 (H27～H28累計)	9事業 (H27～31累計)	77.8%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27	239,477人		H28	236,595人		H29	233,713人	
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	1,477人	1,487人	1,475人		△1,389人	△1,523人	△1,627人		
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 923人		十勝管内 81人	渡島管内 64人	同 (道外)		397人		

- 平成27年からの推移をみると、人口減少に歯止めがかからない状況となっており、今後減少要因が緩和されなければ、人口減少がさらに進行することが懸念される。特に、管内においては、自然減よりも社会減の影響が大きいことから、道内他地域への転出を抑制することが、地域活力の維持には最も重要な課題である。
- 社会減は15～24歳の転出超過が特に大きく、大学進学や卒業後の就職に伴う転出の影響が大きいものと考えられるほか、子育て世代（30～39歳）とその子供（5～9歳）の年齢階級においても転出超過となっていることから、若い世代に定着してもらう取組みを進めることが喫緊の課題である。

釧路地域の中心都市の状況

	釧路市			釧路町			厚岸町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	白糠町 71人	札幌市 666人	関東 281人	釧路市 43人	札幌市 23人	関東 28人	北見市 鹿部町 4人	釧路市 49人	中部 16人
2位	厚岸町 49人	函館市 54人	中部 40人	厚岸町 20人	苫小牧市 稚内市 8人	東北 15人		札幌市 26人	関東 6人
3位	根室市 45人	帯広市 50人	近畿 24人	白糠町 18人		別海町 中標津町他1 8人	中部 11人	根室市 浜中町 弟子屈町 東川町 3人	釧路町 20人
4位	浜中町 36人	旭川市 44人	九州・沖縄 19人	滝川市 美幌町 7人	近畿 3人		帯広市 江別市 7人		
5位	弟子屈町 26人	釧路町 43人	北陸 15人			中国 2人			

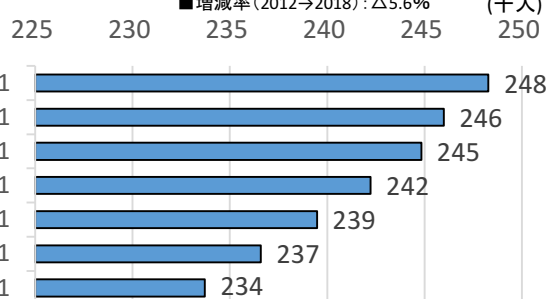
課題

転出超過が継続し、人口減少に占める社会減の影響が大きい。体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数は順調に増加しており、本格的な移住・定住につなげるための情報発信と受入体制の充実が必要。

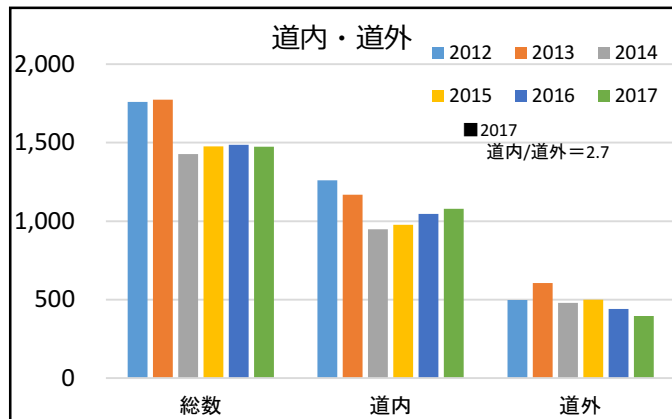
釧路地域の人口動態

人口推移

■増減率(2012→2018): △5.6% (千人)

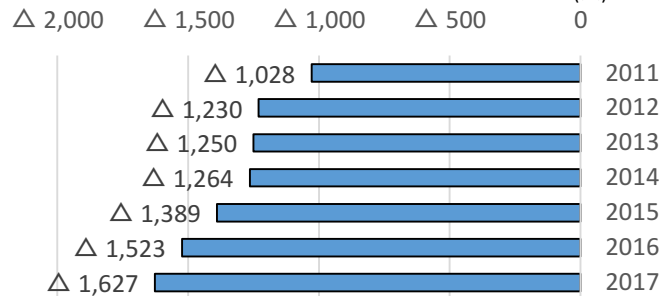


■地域別転出超過の状況 (年別)



自然増減

(人)



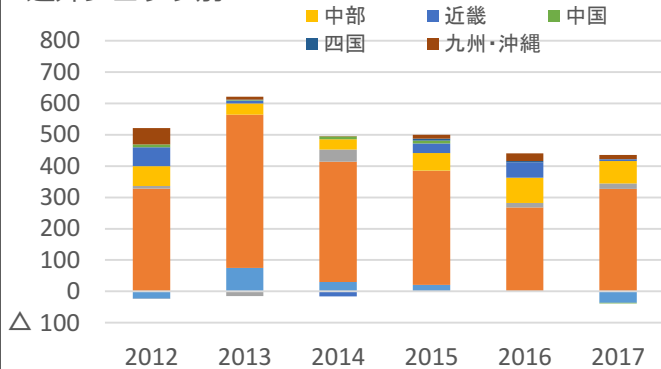
男女別転出超過数 (2017年)

■関東 男/女=0.9

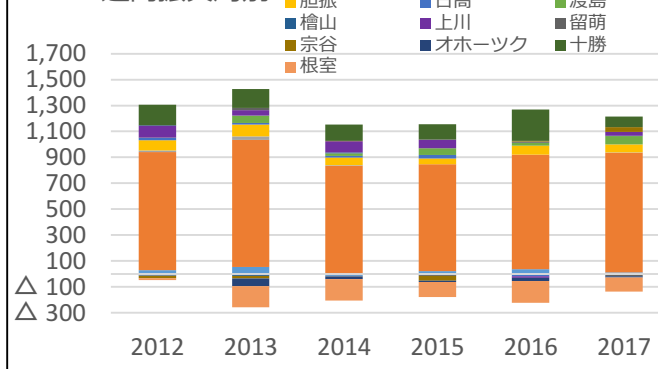
■石狩 男/女=0.6

都道府県ブロック	総数	男	女	振興局			
				振興局	総数	男	女
東北	△ 36	△ 26	△ 10	空知	12	△ 9	21
関東	327	156	171	石狩	923	337	586
北陸	18	13	5	後志	4	△ 7	11
中部	71	44	27	胆振	60	35	25
近畿	5	△ 19	24	日高	△ 3	1	△ 4
中国	△ 2	5	△ 7	渡島	64	48	16
九州・沖縄	13	9	4	檜山	4	5	△ 1
合計	397	181	216	上川	29	7	22
				留萌	△ 15	△ 7	△ 8
				宗谷	38	21	17
				オホーツク	△ 9	△ 19	10
				十勝	81	41	40
				根室	△ 110	△ 37	△ 73
				合計	1,078	416	662

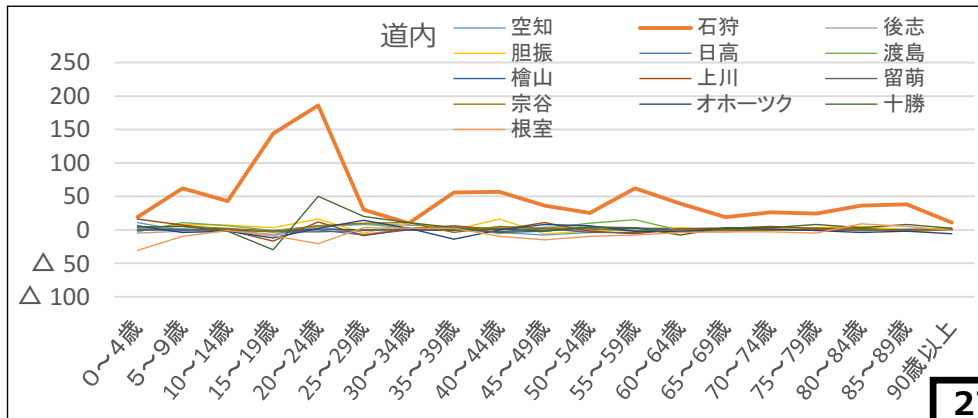
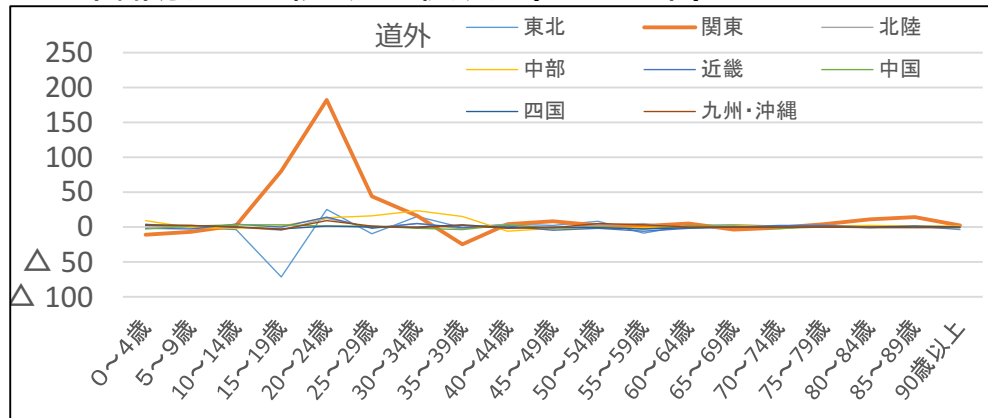
道外ブロック別



道内振興局別



■年齢別人口移動の状況 (2017年)



【根室地域】

主な施策と取組状況

- 子育て支援の充実など少子高齢社会への対応
 - 住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業の実施地域の拡大（6箇所予定）
 - 医療従事者の恒常的な受入体制構築のため医師会や看護協会などの関係団体と連携した誘致対策検討会議の設置
 - 医療系学生のゼミ・研究室・サークル活動の継続的な誘致（根室地域における研究や施設見学など）
 - 札幌医科大学による地域医療交流会（地域と医大との連携）
- 我が国最大の草資源を活かした酪農や豊かな漁業資源を有する水産業の振興
 - 畜産クラスター関連事業の活用による良質な自給飼料の安定確保、生産性の高い酪農経営体の育成、新規就農支援
 - まるごと根室直送市への支援（ねむろ水産普及推進協議会）
 - 札幌市内及び東京近郊のスーパーマーケットで地場水産物のPRイベントを実施
 - 首都圏などで開催される商談会や物産展への参加による販路拡大の推進

- 世界自然遺産の知床をはじめ地域の魅力を活かした取組による交流人口の拡大
 - 教育旅行誘致の推進に係る協議会の開催
 - ロングトレイル広域化検討会議の開催
 - 道東インバウンドガイド講習会の開催
 - 首都圏開催の移住関連イベントへの出展
 - 釧路・根室管内地域おこし協力隊ミーティングの開催

重要業績評価指標<KPI>	戦略策定時	実績値 (a)	目標値 (b)	進捗率 (a)/(b)	備考
子育てサポート体制づくりモデル事業への子育て世帯の参加数	0世帯 (H26)	19世帯 (H29)	30世帯 (H31)	63.3%	
管内の生乳生産量	777千トン (H26)	804千トン (H29)	820千トン (H31)	98.0%	
観光入込宿泊客延数	262千人 (H26)	270千人 (H29)	280千人 (H31)	96.4%	

管内の人口動態分析

人口推移	H27			H28			H29		
	78,275人			77,128人			76,043人		
転出超過	H27	H28	H29	自然増減	H27	H28	H29		
	734人	841人	826人		△233人	△335人	△341人		
転出超過の状況 (振興局)	石狩管内 359人		釧路管内 110人		空知管内 48人		同 (道外)		
○ 道内への転出超過は増加傾向にあり、石狩管内への転出超過が全体の約5割と最も多く、札幌一極集中化が進んでいる。									

根室地域の中心都市の状況

	根室市			別海町			中標津町		
	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過	道内転入超過	道内転出超過	道外転出超過
1位	旭川市 12人	札幌市 116人	関東 71人	根室市 12人	札幌市 51人	関東 14人	別海町 35人	札幌市 84人	関東 32人
2位	紋別市 7人	釧路市 45人	中部 8人	本別町 8人	中標津町 35人	九州・沖縄 8人	浜中町 羅臼町 10人	釧路市 25人	東北 22人
3位	音更町 6人	帯広市 27人	東北 7人	羅臼町 7人	釧路市 21人	中部 4人		帯広市 20人	中部 7人
4位	浜中町 4人	恵庭市 24人	九州・沖縄 6人	北広島市 6人	岩見沢市 釧路町 8人		室蘭市 大樹町 6人	苫小牧市 18人	九州・沖縄 4人
5位	大空町他1 3人	小樽市 15人	中国 3人	鹿追町他1 5人				旭川市 16人	近畿 2人

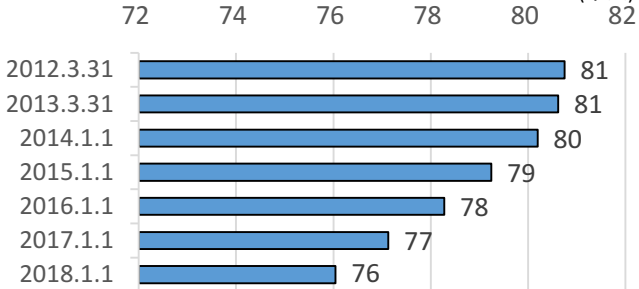
課題

石狩管内を中心に転出超過が継続。農業就業人口の高齢化が進んでいることから、担い手の育成確保に向けた支援等が必要。また、根室水産物など地場産品のブランド化や地域資源の広域での魅力発信が必要。

根室地域の人口動態

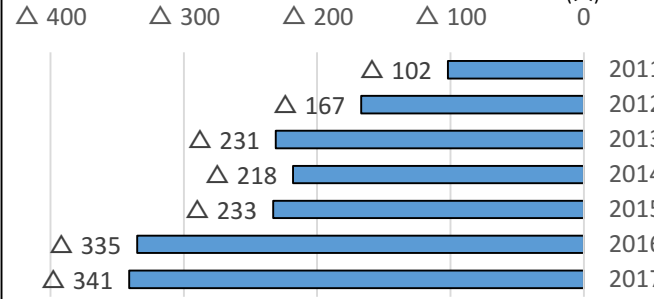
人口推移

■増減率(2012→2018): △6.2% (千人)



自然増減

(人)



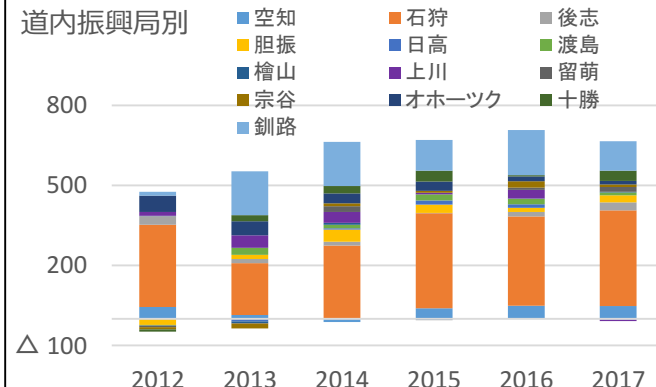
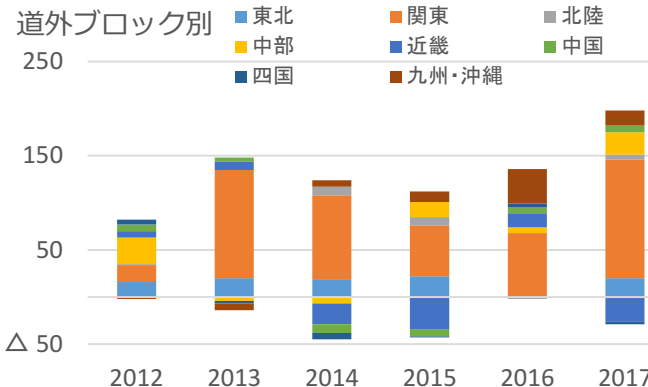
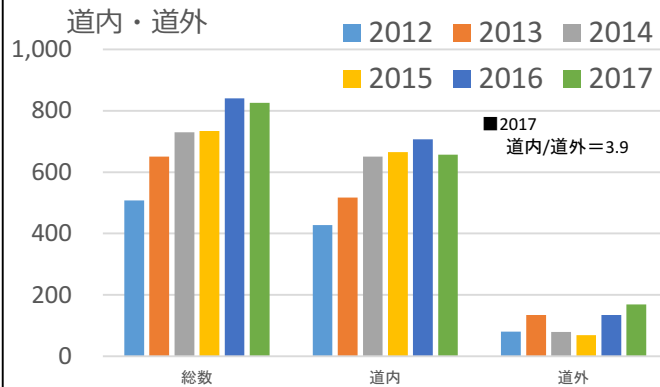
男女別転出超過数(2017年)

■関東 男/女=0.8

■石狩 男/女=0.6

都道府県ブロック	総数	男	女	振興局			
				振興局	総数	男	女
東北	20	8	12	空知	48	20	28
関東	126	55	71	石狩	359	134	225
北陸	5	1	4	後志	29	14	15
中部	24	15	9	胆振	27	13	14
近畿	△26	△17	△9	日高	△2	3	△5
中国	7	3	4	渡島	11	6	5
四国	△3	△4	1	檜山	2	2	0
九州・沖縄	16	5	11	上川	△6	△6	0
合計	169	66	103	留萌	18	9	9
				宗谷	10	9	1
				オホーツク	13	△3	16
				十勝	38	20	18
				釧路	110	37	73
				合計	657	258	399

地域別転出超過の状況(年別)



年齢別人口移動の状況(2017年)

